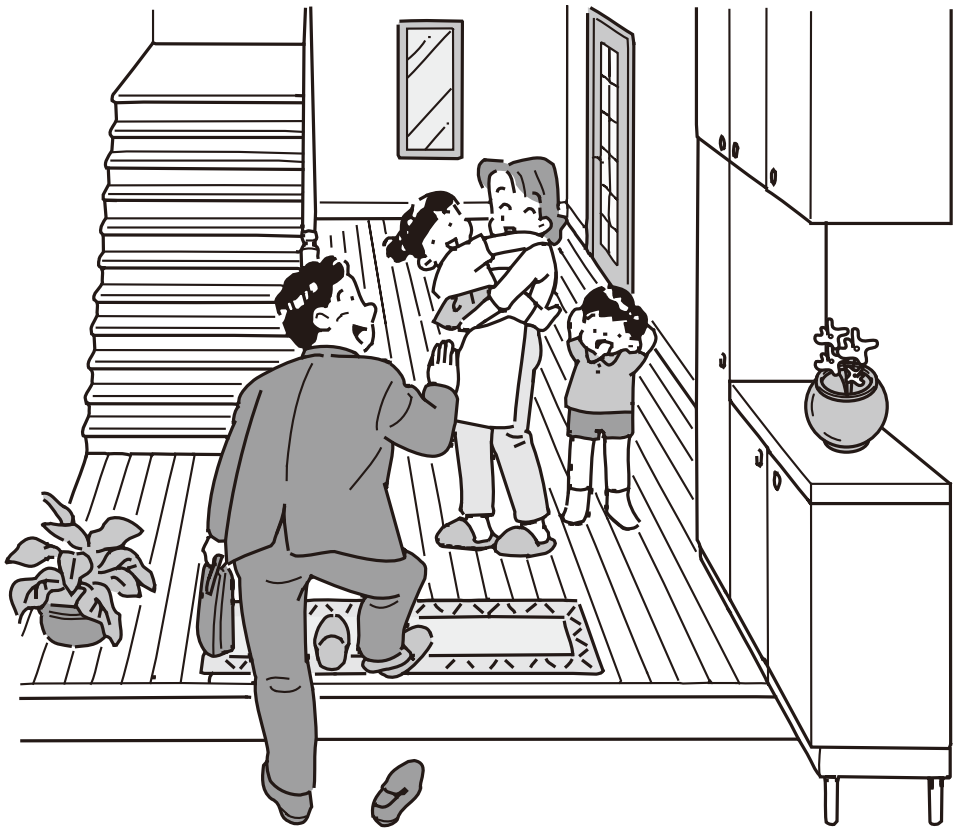
LIXIL

お施主さま用

インテリア建材

建具・造作材・床・階段・収納・その他

取扱説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項、お手入れの方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

目　次

■重要なお知らせ……1
■警告用語の種類と意味……2
■特に注意していただきたいこと……2～20
■お手入れ方法 ……21
■調整方法について……22～49
■アフターメンテナンスについて……50
■商品保証について……51
■使用可否条件について……52

重要なお知らせ

ご使用の前に

安全のため、必ずお守りください。「インテリア建材商品」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。
もしこの取扱い説明書に従わず、乱用または誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1.この取扱い説明書の他にも、あらゆる危険が想定されます。
従って、「インテリア建材商品」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2.この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。

お願い

●この「取扱い説明書」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとすると扉の落下・破損・ケガなどのおそれがありますので、お買い求めの販売店または、当社お客さま相談センターまでご相談ください。
●ご使用前に点検して異常がある場合は使用せず、工務店様・販売店様または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
●製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

問い合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL 修理受付センター	0120-413-433

警告用語の種類と意味

●この「取扱説明書」では、危険度（または事故の大きさ）によって、次の3段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

用　語	意　　味
⚠警　告	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
⚠注　意	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お　願　い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

※安全のため、必ずお守りください。

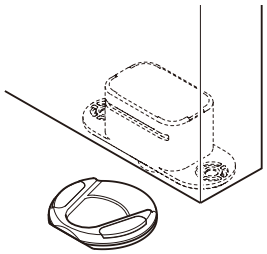
室内ドア・可動間仕切り引戸・上吊引戸等マグネット使用製品

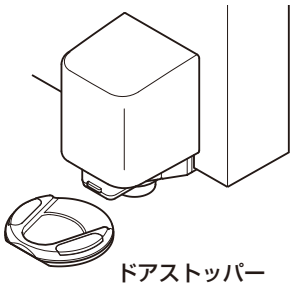
⚠ 警　告

●下記機器をお使いの方は各機器メーカーに磁石の影響をご確認ください。
医療機器誤作動のおそれがあります。

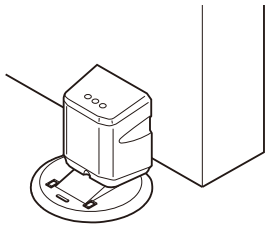
（1）体内埋込型機器
（2）生命維持用機器
（3）装着型心電計等

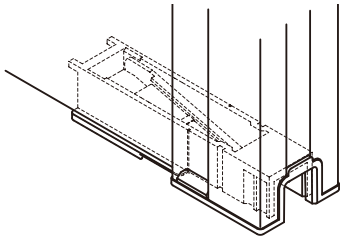
なお、アクセントボードに関しては、アクセントボード自体は磁力を発していません。アクセントボードに貼付ける磁石製品の取り扱いに十分注意してください。



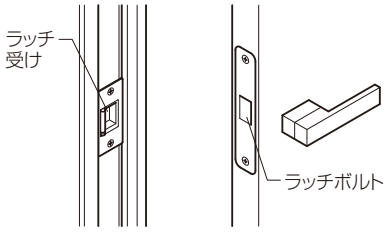


ドアストッパー

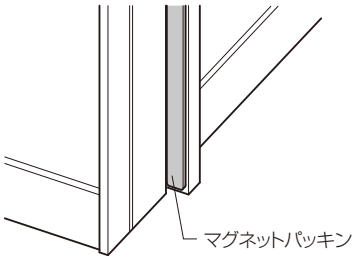




可動間仕切り引戸／上吊引戸（扉下部）



ラシッサ / ラフィス 室内ドア
マグネットラッチ / ジェントルラッチ



ラフィス アルミ建具ドア
マグネットパッキン

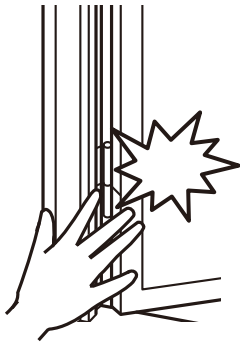
特に注意していただきたいこと

建具・収納共通

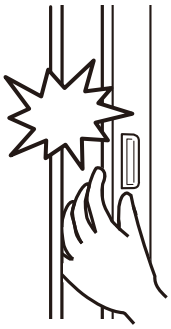
⚠ 警　告

●製品の開閉にあたっては、部品の可動部やすき間に手や足を置かないでください。
指を挟んでケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

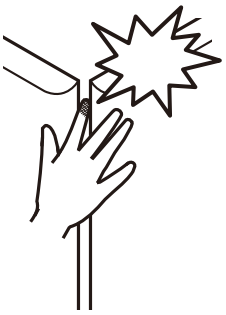
【すき間の例】



縦枠とドアのすき間

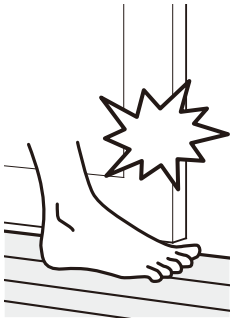


縦枠と引戸のすき間



折れ戸のすき間

枠と突出し窓のすき間



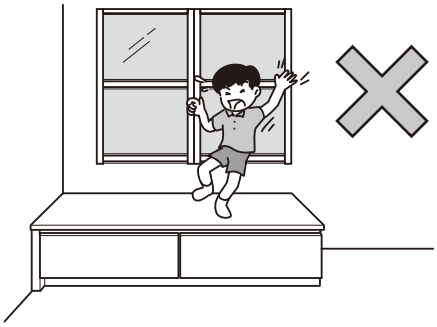
ドアや引戸と床のすき間

※また、温湿度環境によって扉にソリが生じ、すき間が大きくなることがあります。

室内用窓（両開き窓・ランマ用窓・デコマド）

⚠ 警　告

●窓の前にソファー、家具など、よじ登れる物を置かないようにしてください。
転落事故につながるおそれがあります。
特に小さなお子さまにはご注意ください。

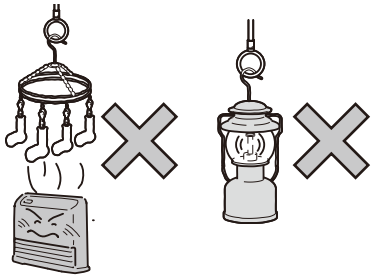


室内物干し 天井付けタイプ

⚠ 警　告

●室内物干しの下にストーブなどの火気のあるものを絶対に置かないでください。
火災のおそれがあります。

●ランタンなど火気のあるものは絶対に掛けないでください。
火災のおそれがあります。



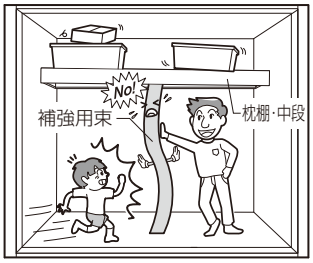
建具・収納・階段共通

⚠ 注　意

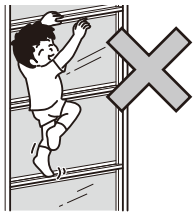
●製品に過度な荷重や衝撃を加えないでください。

製品が破損・脱落したり、収納物が落下したりし、ケガをするおそれがあります。
ガラスを使用している製品ではガラスが割れ、ケガをするおそれがあります。
特にお子さまにはご注意ください。

寄りかからない・ぶつからない



よじ登らない・ぶら下がらない

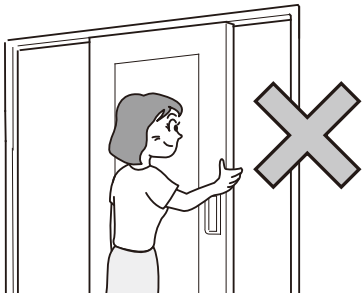


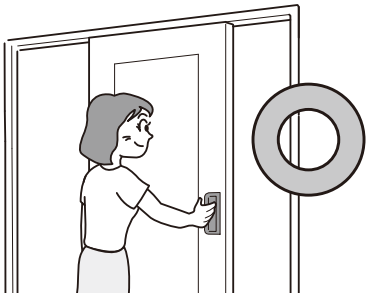
建具・収納共通

⚠ 注　意

●製品の開閉は、必ず把手・引手・手掛けなどの操作部を持って操作してください。

扉の急開・急閉の際、すき間に挟まったり、扉がぶつかって思わぬケガをするおそれがあります。





室内建具・両開き窓・収納

⚠ 注　意

●調整時、丁番・ヒンジの固定ねじをゆるめた場合は必ず締め付けて、ガタツキがないことを確認してください。

扉・窓脱落の原因になるおそれがあります。

●開閉時、扉・窓の下に物を挟まないようにしてください。

扉・窓が持ち上がり、扉脱落の原因になるおそれがあります。

特に注意していただきたいこと

室内ドア

⚠ 注　意

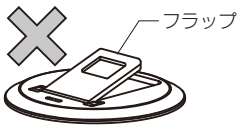
●扉を開放しておくときは、外付けドアストッパーなどで扉を固定してください。
強い風などで勢いよく閉まることがあり、ぶつかったり、ガラス割れなどで思わぬケガをするおそれがあります。

	フラップ式 外付ドアストッパー	シリンダー式 外付ドアストッパー	シークレットドア ストッパー
仮保持	なし	あり	あり
ロック	あり	あり	なし

室内ドア（ドアストッパー（マグネットタイプ））

⚠ 注　意

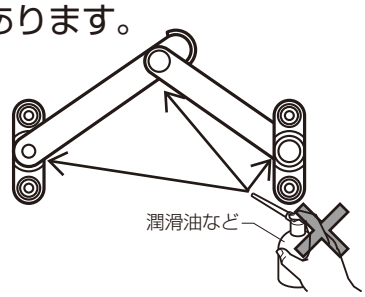
●床付け部品のフラップが立ち上がったままになっている場合は、必ず手で倒してください。
思わぬケガをするおそれがあります。

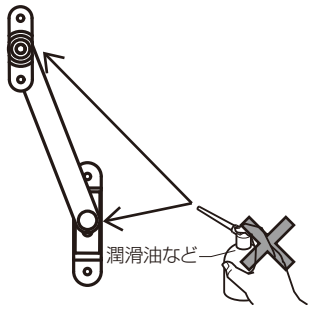


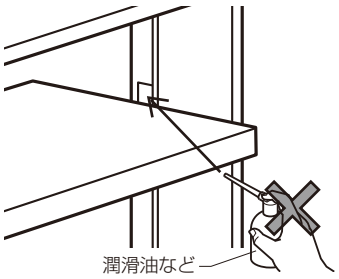
ランマ付ドア・室内用窓（ランマ用窓・デコマド）

⚠ 注　意

●フリクションステーや回転軸には、潤滑油（スプレー等）や洗剤をかけないでください。好きな位置で固定できず（ブレーキ不良）、急閉によりケガをするおそれがあります。



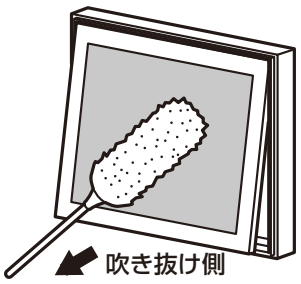




室内用窓（両開き窓・ランマ用窓・デコマド）

⚠ 注　意

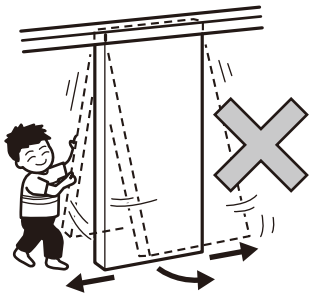
【吹き抜けに設置した場合】
●吹き抜け側の清掃は、長い柄付きのモップなどで、吹き抜け側から行ってください。
転落しケガをするおそれがあります。



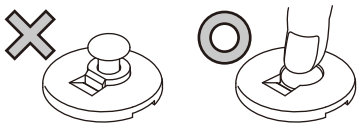
可動間仕切り引戸／上吊引戸

⚠ 注　意

●扉の開閉方向以外の力を加えないでください。
ガイドピンが扉からはずれるおそれがあります。
はずれた場合は、開閉方向に扉を静かに1往復させてください。



●ガイドピンが扉下部のレールから外れた状態で扉を開閉したり前後に動かさないでください。
部品が破損して落下するおそれがあります。
はずれた場合は、開閉方向に扉を静かに1往復させてください。

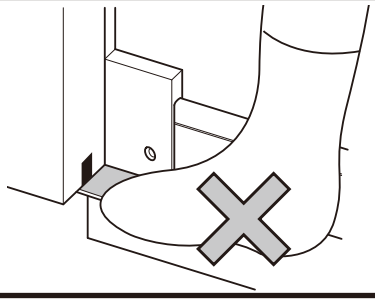


●ガイドピンが戻らない場合は必ず手で押し戻してください。
つまずいたり、思わぬケガをするおそれがあります。ガイドピンが出たまま、引っ込まない場合は、手で押して引っ込ませてください。

クローゼット引戸 アウトセット方式

⚠ 注　意

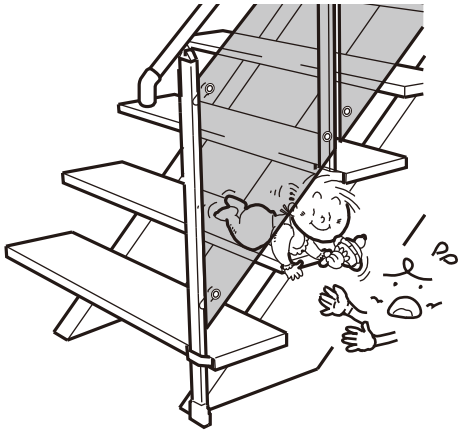
●ガイドピンにはのらないでください。
部品がはずれ、思わぬケガをするおそれがあります。



階段／オープン用金属手すり

⚠ 注　意

●階段のすき間から頭や体を出したり、よじ登ったりしないでください。
落下し、ケガをするおそれがあります。
- 手すりのパネルと階段のすき間
- 踏板と踏板のすき間（けこみ板がない階段）



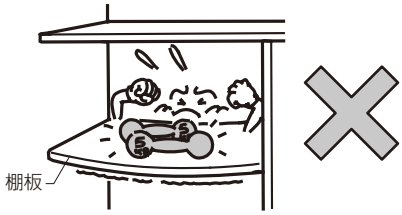
特に注意していただきたいこと

各種製品耐荷重

⚠ 注　意

●各製品は耐荷重を超えないようにお使いください。
製品が破損･脱落し､ケガをするおそれがあります。

●耐荷重は製品を安全にお使いいただくための荷重です。棚板・製品がたわまないわけではありません。
（耐荷重：均等に物を置く想定）
1 個所に集中して物を置くと耐荷重以下であってもたわみが大きくなります。



■玄関収納耐荷重

部位	W 幅	耐荷重	備考
カウンター	―	10kg	支持キャビネット 1 台あたりの耐荷量
可動棚板	200	2kg	靴 1 足
	400	4kg	靴 2 足
	600	6kg	靴 2 ～ 3 足
	740	7.5kg	靴 3 ～ 4 足
	800	8kg	靴 4 足
固定棚板	―	10kg	W 幅に関わらず一定
地板	―	20kg	W 幅に関わらず一定

■玄関収納別売品耐荷重

別売品名	耐荷重
スライドコートハンガー	5kg

■玄関収納棚板取付け可能枚数
取付け可能枚数以上は取り付けないでください。
キャビネット落下の原因になります。

キャビネット種類	キャビネット高さ	可動棚（取付け可能枚数）	固定棚（取付け可能枚数）
ウォール	320	1	―
	321 ～ 544	2	―
	545 ～ 960	3	―
ベース	704	4	―
	705 ～ 800	4	―
	801 ～ 1184	7	―
トール	1216	6	1
	1217 ～ 1760	9	1
	1761 ～ 2080	11	1
	2081 ～ 2240	12	1

■収納部材　枕棚・中段耐荷重

部材	耐荷重
中段	200kg
枕棚単体	70kg
枕棚＋ハンガーパイプ	合計 70kg ※ハンガーパイプには 30kg まで
枕棚 L 型納まりの場合	枕棚合計 70kg

■デコカウンター耐荷重

部材	耐荷重
デコカウンター	幅 455mm 間隔内で 15kg

■耐水メラミンカウンター耐荷重

部材	耐荷重
耐水メラミンカウンター	幅 500mm 間隔内で 20kg

■床下収納耐荷重

収納本体（呼称）		耐荷重 収納本体
深型	600	110kg
	900	165kg
浅型	600	70kg

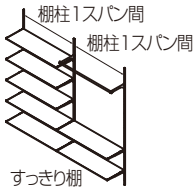
※フタの耐荷重の目安は70kgです。

■すっきり棚　棚板・パイプ耐荷重

部材	奥行き	耐荷重
樹脂棚板	―	8.5kg/ 枚
木製棚板	130	5kg/ 枚
	200/300/430	10kg/ 枚
パイプ	―	17kg/ 本

■すっきり棚　棚柱1スパン間耐荷重

棚柱寸法	耐荷重
L1820	85kg
L900	47kg
L600	37kg

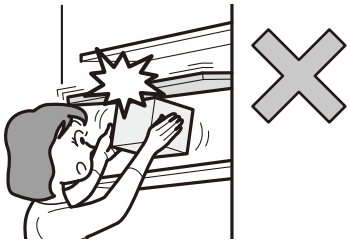


※例）L1820に樹脂棚板＋パイプを設置する場合は、
樹脂棚板8枚とパイプ1本になります。
※例）L900に木製棚板＋パイプを設置する場合は、木製棚板3枚とパイプ1本になります。（L600の場合は、木製棚板2枚とパイプ1本）

■ぴったり棚　棚板耐荷重

部材		耐荷重
棚板		15kg/ 枚
棚柱	L1820	90kg/1スパン（棚板6枚まで）
	L700	45kg/1スパン（棚板3枚まで）

※棚板は棚受に固定されていません。棚板下面から突き上げると棚板が脱落しケガをするおそれがあります。



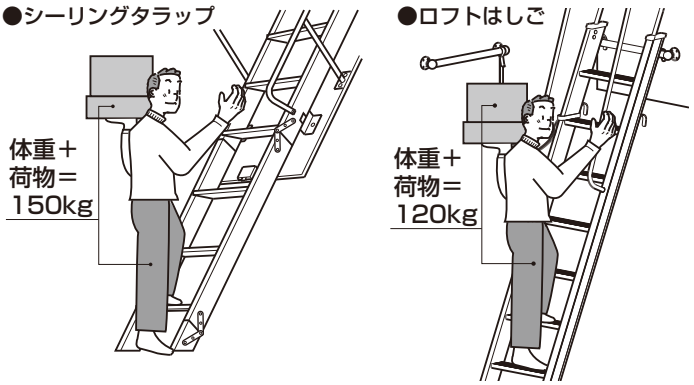
■シートカウンター耐荷重

製品	T（厚み）	D（奥行き）	耐荷重
カウンター（L3600）	40	220	60kg（16.5kg/m）
	40	300	80kg（22.5kg/m）
	70	500	135kg（37.5kg/m）
ベンチタイプ（L1200）	70	300	135kg（110kg/m）

シーリングタラップ・ロフトはしご

⚠ 注　意

●体重と荷物の合計が、図に示す重量を超えないようにしてください。
思わぬケガをするおそれがあります。



特に注意していただきたいこと

各種収納

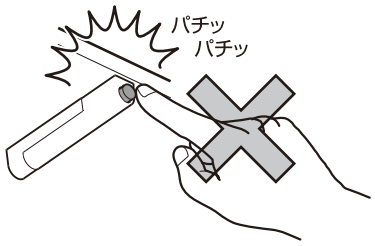
お願い

●家電製品をのせる場合は、必要設置寸法（家電に付属の取扱説明書などに記載）を必ずご確認ください。

玄関収納

お願い

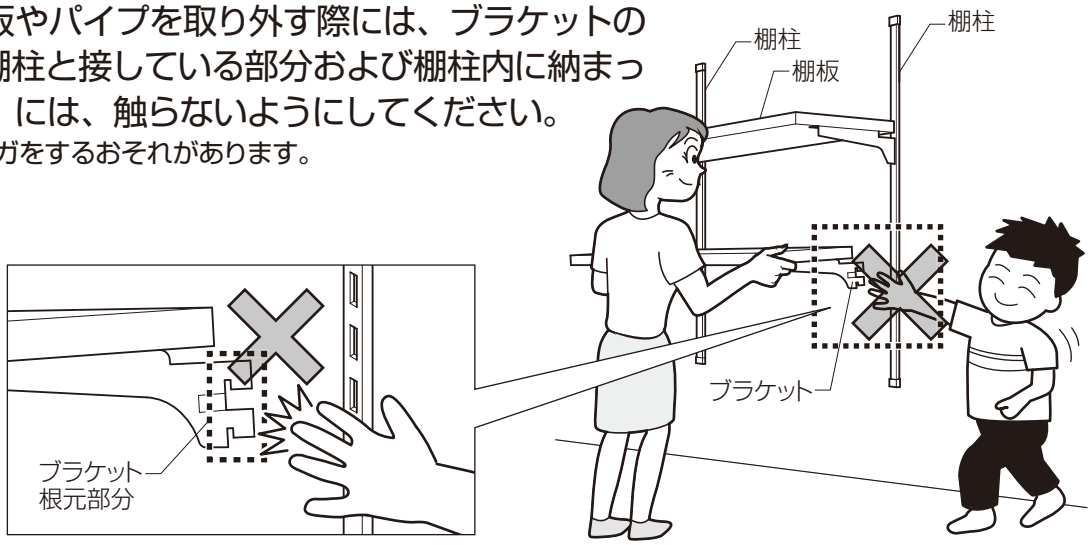
●プッシュラッチを指ではじいて遊ばないでください。
部品が破損する原因になります。



すっきり棚

お願い

●棚柱から棚板やパイプを取り外す際には、ブラケットの根元部分（棚柱と接している部分および棚柱内に納まっている部分）には、触らないようにしてください。
指や手などをケガをするおそれがあります。



床下収納

お願い

●中桟を外した場合は、必ず元に戻してください。
フタの破損・外れにより、ケガをするおそれがあります。

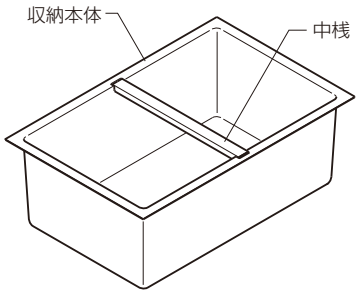
●収納部への転落に気をつけてください。
特にお子さまにはご注意ください。

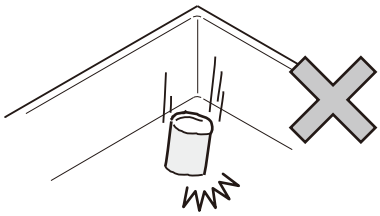
●外して横に置いたフタの上にのらないでください。

●スライドタイプのガイドレールと本体のすき間に、指や手を入れないでください。
指や手をはさんでケガをするおそれがあります。

●収納本体に物を落とさないでください。
白く変色したり、破損する原因になります。

●収納本体の抗菌性能を維持するため、定期的にから拭きでよごれを拭き取ってください。





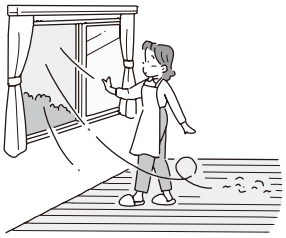
ご理解いただきたいこと

考えられる主な原因を例として記載しています。

◆ 使用上のお願い ◆

共通

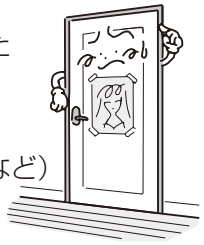
●ホルムアルデヒドへの配慮をお願いします

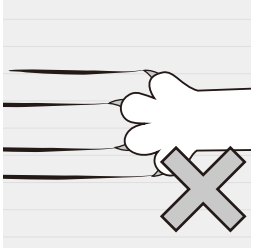


日常的に通気や換気をこまめに行ってください。

商品から放散される化学物質の削減に努めていますが、完全になくすことは困難です。
特に、新築住宅やリフォーム直後には充分な換気をお願いします。
また、ホルムアルデヒドは高温になると多く放散される性質があります。
夏場や長時間閉め切っていた際などは、特にご注意ください。

●表面のシートや塗装が浮いたり、はがれたりすることがあります





原因
- テープやシールの粘着成分で表面が引っ張られた
- 刃物やペットのツメなど、とがったものや硬いもので引っかいた
- 熱いものを直接置き、熱により変質した

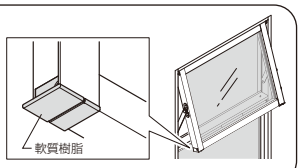
対処
- テープやシールを貼らない
- とがったものや硬いものでひっかかない（刃物やペットのツメなど）
- 熱いものを直接置かない

●清掃などにより、製品や部品の表面が変色・変質することがあります

原因
- 使用してはいけない洗剤（酸性・アルカリ性）や溶剤（シンナー・ベンジン）などで清掃し、化学反応を起こしてしまった

対処
- 取扱説明書に記載のお手入れ方法を守る
- ひどい汚れ、落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めて硬く絞ったぞうきんで拭き取り、洗剤は除去する

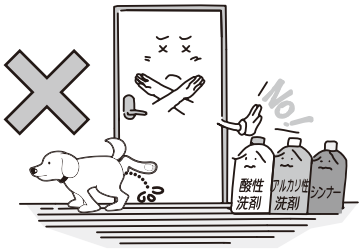
突き出し窓などの角部は安全のため樹脂を使用しているものがあります。酸性洗剤などを付着したままにすると変色、変質することがあります。



●製品の表面が膨らんだり、変色・変質することがあります

原因
- ひんぱんに水がかかり、水分を吸ってしまった
- 放置した水や洗剤などの液体が、染み込んでしまった

対処
- 水が直接かからないようにする
- 水や下記液体が製品にかかった場合はすぐに拭き取る
  油・殺虫剤・除光液・化粧品・整髪料・毛染め剤・脱色剤・うがい薬・芳香剤・除湿剤・アロマオイル・洗剤・漂白剤・除菌クリーナー・紅茶・ペットの排泄物・その他の液体など



●樹脂部分が変色、変形したり、溶けたりすることがあります

原因
- 放置した薬品などの液体が樹脂材料と化学反応を起こしてしまった

対処
- 下記液体が製品にかかった場合はすぐに拭き取る
  油・殺虫剤・除光液・化粧品・整髪料・毛染め剤・脱色剤・うがい薬・芳香剤・除湿剤・アロマオイル・洗剤・漂白剤・除菌クリーナー・紅茶・ペットの排泄物・その他の液体など

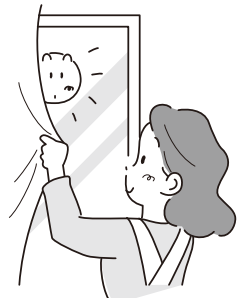
●油性ペンやインクが清掃しても落ちないことがあります

原因
- 油性ペンやインクの成分が、染み込んでしまった
  ※油性ペンやインクをはじく仕様ではありません。濡らして絞ったぞうきんや中性洗剤で取れる場合もありますが、取れないこともあるのでご注意ください。

対処
- 製品に油性ペンやインクを使わない

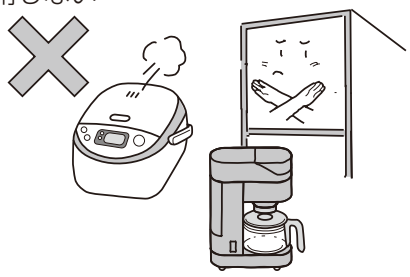
共通

●ソリや変色、ひび割れ、部材の伸縮などが起こることがあります



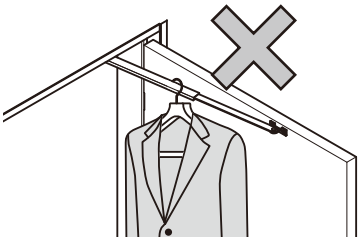
原因
- 室内と廊下や、室内間の温度･湿度差が大きい
- 熱や水蒸気が直接当たっている
- 直射日光が長期間当たっている

対処
- 室内と廊下や、室内間の温度･湿度差を少なくする
- 暖房器具や電化製品などから発生する熱や水蒸気が直接当たらないようにする
- 電化製品を収納内部に入れたまま使用しない
- 直射日光が当たらないように、カーテンやブラインドなどを使う



アームストッパー

●アームストッパーや丁番が壊れることがあります

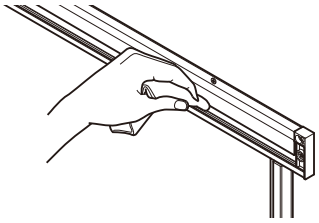


原因
- ストッパーで止まる角度以上に、無理にドアを開こうとした
- アーム部分に洋服などを掛けて、荷重がかかった

対処
- アームストッパーで止まる角度以上にドアを開けない
- アーム部分に物を掛けない

クローゼット折れ戸アウトセットタイプなどレールのある製品

●異音や開閉不良が起こることがあります

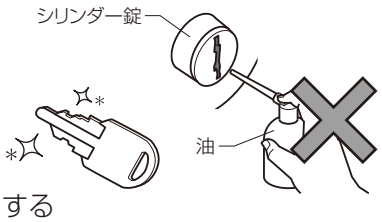


原因
- レールにゴミやほこりが溜まり、部品がスムーズに動かなくなった

対処
- レールの溝はこまめにお掃除してください

シリンダー錠

●鍵の抜き差しや回転がしづらくなることがあります



原因
- キーにゴミや異物が付着した
- 鍵穴に油を注してしまい、注した油がホコリを吸着してしまった

対処
- 鍵の汚れを拭き取り、きれいにする
- 鍵穴に鉛筆(柔かい芯)の粉や鍵穴専用潤滑剤などを使用し、滑りをよくする
  ※鉛筆を使用する場合は、キーを差し込む部分を鉛筆でなぞったあと、キーの抜き差しを数回行う。
- 鍵穴に市販の潤滑油や油類は注さない

把手・つまみ

●把手やつまみがゆるんだり、ガタついてくることがあります

原因
- 長年のご使用により、ねじがゆるんでしまった

対処
- 手回しドライバーで固定ねじを締め直す

ご理解いただきたいこと

考えられる主な原因を例として記載しています。

◆ 使用上のお願い ◆

室内ドア（ドアストッパー（マグネットタイプ））/可動間仕切り引戸 ノンレールタイプ/上吊引戸

●ドアストッパー、ガイドピンの作動が悪くなることがあります

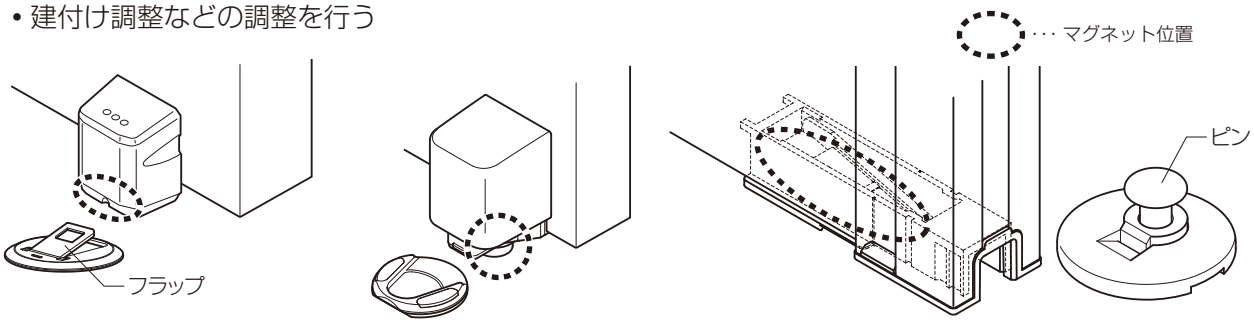
原因

- 異物が付着した
- 床にワックスや洗剤を使用し、床付け部品が固まって動かなくなった
- 調整不足や、長年のご使用により建付けが悪くなった

対処

- 部品まわりのゴミやほこり、異物を取り除く
  ※引っかかったゴミやホコリはフラップ、ピンを引き上げて取り除いてください
  掃除機で無理にこするとキズの原因になります
  ※ワックスや洗剤は部品内に入り込まないようにしてください
  ※ジュースなどの液体をこぼした場合は、フラップ、ピンを引き上げて
  濡れた布で拭き、よく乾かしてください
- マグネットに付着した異物を取り除く
- 建付け調整などの調整を行う

不明な点がある場合は、お取扱いの施工店または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。



室内ドア（ドアストッパー（マグネットタイプ））

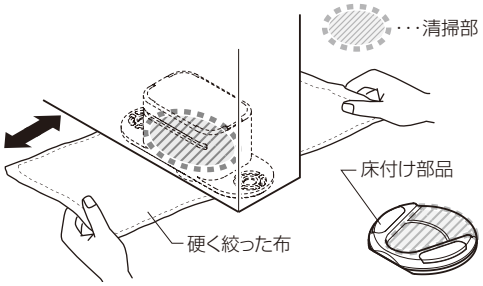
●ドアストッパーから異音がしたり、開閉操作が重くなることがあります

原因

- マグネット部に砂ぼこりなどの粉じんが付着している
- 床付け部品に砂ぼこりなどの粉じんが付着している

対処

- マグネット部や床付け部品の砂ぼこりなどの粉じんを掃除機で取り除く
- マグネット部や床付け部品を硬く絞った布で拭き、よく乾かす



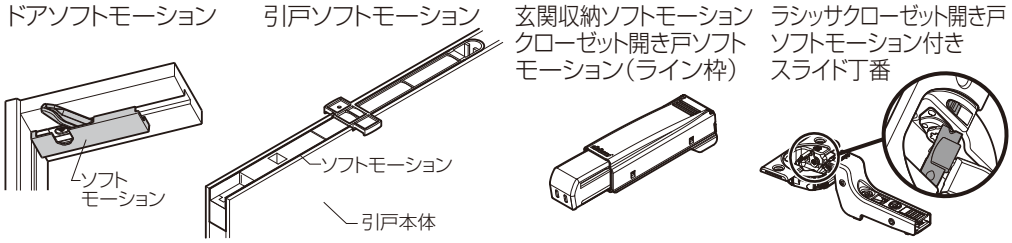
ソフトモーション部品共通

●ソフトモーションが作動しなくなることがあります

原因
- 調整不足や、長年のご使用により建付けが悪くなった
- 部品に潤滑油などを塗布してしまった
- 長年のご使用により部品が劣化した（部品の交換が必要です）

対処
- 調整方法があるものは各種調整を行う
- ソフトモーション部品には潤滑油などを塗布しない
- ソフトモーション部品を交換する
  （保証期間を超えている場合、有償対応になります）

不明な点がある場合は、
お取扱いの施工店または
当社お客さま相談センターに
お問い合わせください。



階段／オープン用金属手すり

●固定部がゆるみ、異音が発生することがあります

原因
- 階段･手すり部材に過度な衝撃が加わった

対処
- 踏板や踊り場の上で飛び跳ねたり、
  過度な衝撃を与えない

不明な点がある場合は、
お取扱いの施工店または
当社お客さま相談センターに
お問い合わせください。

シートカウンター

●製品表面にキズが付くことがあります

原因
- 化粧シートの下は木質材料（柔らかい素材）のため

対処
- 下敷きなどを敷いて筆記する
- カッターナイフなどはマットを敷いて使用する
  ※鉛筆用具やカッターナイフを直接使用しない

ご理解いただきたいこと

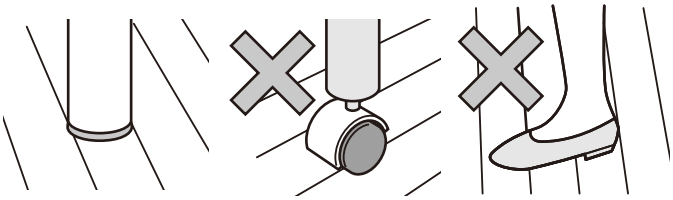
考えられる主な原因を例として記載しています。

床

●床表面がキズついたり、へこみ、はがれなどが起こることがあります

原因
- テーブルやイスを引きずった
- 土足で使用した
- キャスター付きイスなどを繰り返し使用した
  ※耐キャスター性とは･･･キャスターによるキズの深さを軽減し、目立ちにくくする仕様です
  耐キャスター性を高めた床材も、キズやへこみ、はがれがおきないわけではありません
  金属製や球形状のキャスターはキズやへこみが発生しやすいです

対処
- イスの脚にフェルトやキャップなどを付ける
- キャスター付きイスなどを使用する際は、厚手のマットなどを敷いて床を保護する



●床表面に色が移り除去できない場合や、変色・くされが起こることがあります

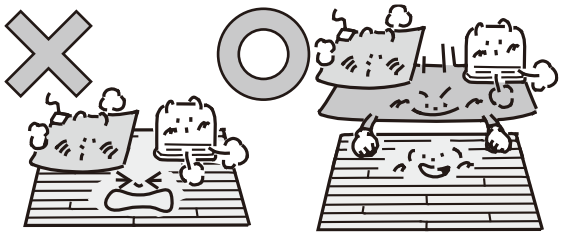
原因
- ゴムやプラスチックなどを長時間床面に置いたままにした
  ※滑り止め加工などの成分が床に付着し、変色や変質が起こることがあります
- こぼしたまま放置した液体が、床材に浸透した
  ※耐水性を高めた床材でも、放置すると表面のシミ・くされなどが起きます
- 化学ぞうきんを床に放置したり、ウエットタイプを使用した

対処
- ゴムやプラスチック製品は長時間床面と接触しないようにする
- 液体をこぼした場合は速やかに拭き取る
  ※目地部分を強くこすると、色落ちする場合がありますので、ご注意ください
- 化学ぞうきんはドライタイプを使用し、床に放置しない

●目スキ、表面ひび割れ、変色、フクレなどが起こることがあります

原因
- 熱風や熱などが床表面に直接伝わり、床材が過度に乾燥した
- スチームを使ってお手入れし、床材が過度に湿気た

対処
- 温風ヒーターなどの熱風が直接当たる場所には、カーペットなどを敷き床を保護する
- 取扱説明書に記載のお手入れ方法を守る



【床暖房運転時】

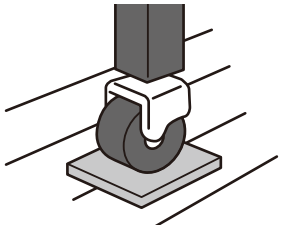
原因
- 床暖房の熱がこもって、床材が過度に乾燥した

対処
- カーペットなどで表面を覆わない
  ※放熱が妨げられ暖房効率も悪化します

●ピアノなど重量物により床が抜けたり、キズ、へこみ、はがれ等が起こることがあります

原因
- 下地などを補強せずに重量物を置いた
- 重量物を引きずって移動した

対処
- 床を補強する（あらかじめ施工業者さまへご確認ください）
- 床の補強をした上で、脚の下にインシュレーターや板などを敷き、重量を分散させる
- 重量物を移動させる時は引きずらない



床材のワックスがけについて

※ノンワックス仕様の床材はワックスがけの必要はありません。
ワックスがけをされますと、表面がワックスの性能になり、本来の性能が損なわれます。
どうしてもワックスを使用されたい場合は、リンレイ社の『ハイテクフローリング コート』をご使用ください。
ただし、床表面の性能はワックスの性能になります。

●ワックスが白くなることがあります

原因
- 室温が低いとき(5℃以下)や雨天などで湿度が高いときに塗布した
- ワックスの塗布面にお湯などをこぼした

対処
- 白化したワックスは除去する

●床表面が膨れることがあります

原因
- ワックスを直接床にまいたり、大量に塗布して床材に染み込んだ

対処
- 布などにしみ込ませて薄くムラなく塗布する

●はがれや膨れ、変色などが起こることがあります

原因
- ワックスはくり剤を使ってしまった

対処
- ワックスはくり剤は使わない

その他の使用方法については、ワックス容器記載の使用方法をよくお読みください。
使用方法を誤ると床材表面に異常を起こす場合があります。

虫害について

●小さな穴があき、木の粉のようなものが出てくることがあります

原因
- 外部から飛来した虫による虫害の可能性があります
  ※製品製造工程で高温高圧処理で虫や卵は死滅していますが、その後の環境によって、外部から飛来した虫や、他の家具等から発生した虫が製品に穴をあけることがあります。

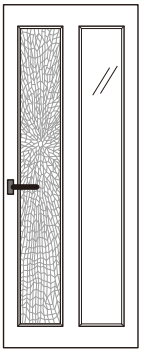
対処
- 専用薬剤を散布・注入するなど、早期対応が必要です
  ※専用薬剤は、ホームセンターなどでお求めいただけますが、処理専門業者にご相談されることをおすすめします

ご理解いただきたいこと

考えられる主な原因を例として記載しています。

熱処理ガラスを使った製品

●ごくまれに自然破損することがあります



原因
- ガラス表面の微細な傷や不純物により、内部の圧縮と引っ張りの力のバランスが崩れた

対処
- 発生時は、お取扱いの施工店または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

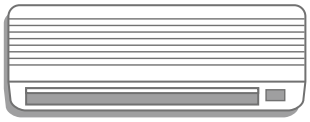
万が一割れてもケガのおそれが少ないように、
割れたガラスが細かい粒状になるよう配慮した仕様で製造しています。
※製造上、キズや不純物が入ったガラスは検品で排除していますが、
出荷後の状況により起こることもあり、完全に防ぐことは困難です。

床・階段・手すり・集成カウンターなど木塗装製品

●集成材の継ぎ目にすき間や表面にひび割れを生じることがあります

原因
- エアコンや強制排気型の暖房装置を連続使用し、室内が過乾燥になった

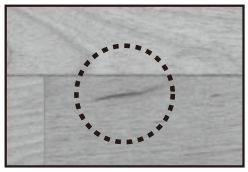
対処
- 加湿器を併用する（望ましい湿度は45～70%）



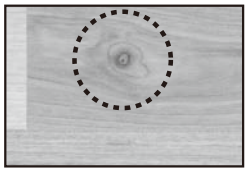
豆知識

天然木は1枚1枚色柄に特有の変化があります。製造工場で極力色合わせするなど工夫しておりますが、まったく同じ木目・色調になることはありません。天然木ならではの特性としてご理解ください。
小さな節や入り皮、てりなどは木材の成長過程で発生する天然木ならではの特徴です。
個性あふれる自然の表情としてご理解ください。

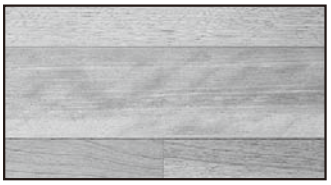
●入り皮
成長過程で幹に巻込まれた樹皮や変色部分



●節
枝が成長した幹に巻込まれた部分



●てり
木材を形成する細胞の方向性の違いから生じるツヤの違い



木質材料の床だから起こること

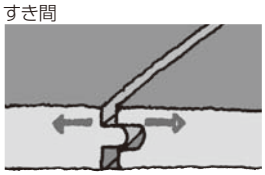
●床が音鳴りする

原因
- 室内の湿気によって床材が伸縮し、継ぎ目がこすれるため
  ※木材が持つ自然な調湿機能によるものです

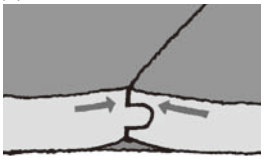
●ソリ、すき間、膨らみ（突き上げ）が発生した

原因
- 季節や使用場所の温度・湿度変化により、木材が伸縮するため
  ※すき間や突き上げが発生しづらい施工方法をとっていますが、完全に防ぐことはできません

すき間



突き上げ



ペット対応の床

●ペット対応の床なのにペット（小型犬）がすべった

※犬種や個体差によりすべりにくさは異なります
※すべりにくい配慮をした床ですが、次のような場合すべることがあります

原因
- 走り回ったり、急な動作（飛び出し、停止、方向転換等）の場合
- ツメが伸びていたり、肉球の周りの毛が伸びたりしている場合（歩行時でもすべることがあります）
- 床表面に油分や汚れが付着している場合
- 使用環境や使用期間により表面が摩耗され、性能が低下してしまった場合
- 同一面に他のフローリングがあり、すべり抵抗が違う場合
  ※すべり抵抗が異なるとすべったりつまづいたりすることがあります
- ワックスをかけてしまった場合

対処
- 表面に付着した油分や汚れは、住宅用洗剤を含ませ固く絞った雑巾で拭き取る
- ワックスをかけない（ワックスをかけると床本来の性能ではなくワックスの性能になってしまいます）

●キズが付いた

原因
- ペットのツメなどで床材の表面が傷つくことがあります

※キズが付きにくい仕様ですが、キズが全くつかないわけではありません

すべり配慮の床

●すべり配慮の床なのに、すべった

※すべりにくい配慮をした床ですが、次のような場合すべることがあります

原因
- 走ったり、走っていて急に止まった場合
- 床表面に油分や汚れが付着している場合
- 使用環境や使用期間により表面が摩耗され、性能が低下してしまった場合
- 同一面に他のフローリングがあり、すべり抵抗が違う場合
  ※すべり抵抗が異なるとすべったりつまづいたりすることがあります
- ワックスをかけてしまった場合

対処
- 表面に付着した油分や汚れは、住宅用洗剤を含ませ固く絞った雑巾で拭き取る
- ワックスをかけない（ワックスをかけると床本来の性能ではなくワックスの性能になってしまいます）

ストリップタイプ・桁タイプ・アルミ階段

●けこみ板がなく、桁で支えている構造のため、段数が多い場合は揺れを感じる場合があります

ラシッサアルファ階段蓄光タイプ

●ご使用環境や、当たる光の量・時間によって光り方は異なります
●個人差やご自宅の照明の違いにより、光の見え方は異なります
●時間の経過とともに明るさは減衰します
※階段の昇降に必要な明かりが得られない場合は、照明をつけて昇降してください

インテリア格子

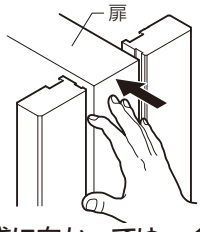
●縦格子に負荷が掛かると、部材連結個所から音がすることがあります
（例）縦格子 2 本を掴んでしまった場合や温度変化による部材の伸縮、製品のねじれなど

ご理解いただきたいこと

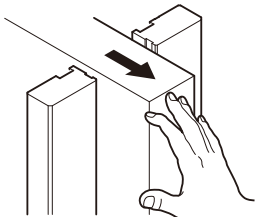
◆ 操作方法 ◆

引込み戸

戸袋の扉出入れは下図のように行ってください

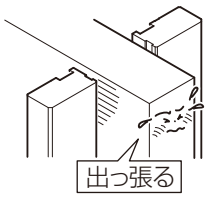


①戸袋に向かってゆっくり押し込むと扉は静止します。



②全開状態から軽く押すと、とび出します。

【うまく全開しない場合】
※ 20cm 以上引き出してから再び手で押し込むと復帰します。

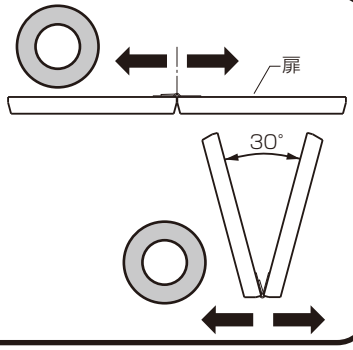


●勢い良く開けたり、戸袋に納まっている状態から無理に引っ張ると、壊れる場合があります。

クローゼット折れ戸

扉の移動は、下記いずれかの方法で行ってください

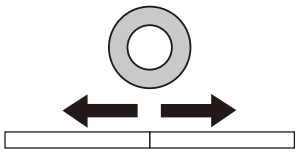
●扉を閉じた状態で動かす。
●扉を開いた状態で動かす場合は30°の角度で行う。
（30°で扉が一時固定されます）
※角度が 30°未満の状態では移動させないでください。動きがギクシャクしたり下部のローラーがレールから外れたりする場合があります。



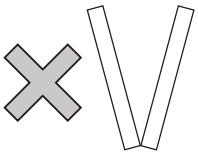
可動間仕切り折れ戸

扉の移動は下図の方法で行ってください

●扉は閉じた状態で動かしてください。



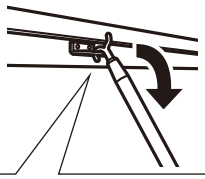
※扉をたたんだ状態で動かすと、動きがギクシャクしたり、走行に支障がでる場合があります。

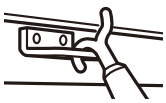


たたんだ状態

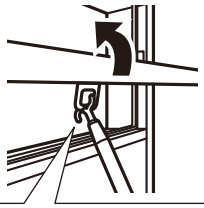
ランマ付ドア・ランマ用窓

フック棒での開閉は下図の方法で行ってください





開：金具穴にフックを引っ掛けて手前に引く。



閉：フックのくぼみを金具に押し当て押し上げる

※上記以外の個所にフック棒を当てると本体を傷つける原因になります。

室内ドア／引戸 通風デザイン ロック付開閉レバーのロック方法

【ルーバーのロック機能（チャイルドロック）について】
ルーバーを閉じた状態で固定し、お子さまの指はさみなどの事故を起こりにくくする機能です。

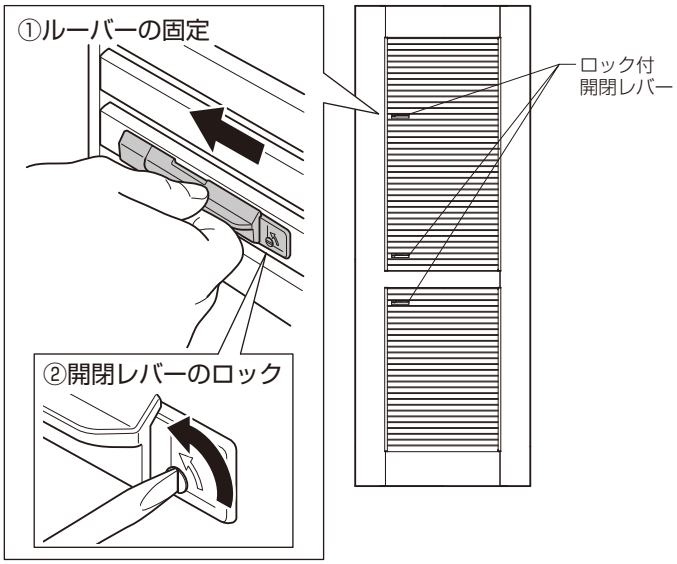
お願い

●ロックの際は必ずすべてのルーバーをロックしてください。
（サイズにより２個所または３個所ロックがあります。）
●ロックをかけたままルーバーを操作しないでください。
部品が破損する原因になります。

■ロックのかけ方

①ルーバーの回転の固定
羽根を閉じロック付開閉レバーを矢印の方向にカチッとするまでスライドさせます。

②開閉レバーのロック
赤いボタンをマイナスドライバーなどで印矢方向に回転させ、開閉レバーの動きをロックします。



ロック操作方法
動画
717797301002

■ロックの解除方法

上記手順と逆の手順（②開閉レバーのロックを解除→①ルーバーの回転の固定を解除）で解除します。

お手入れ方法

建具・造作材・収納・階段・手すり

●**日常のお手入れ：**乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。
●**ひどい汚れ・落ちにくい汚れ：**薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭き、洗剤はきれいに拭き取ってください。
※建具表面のデザイン溝部分は、表面が傷む場合があるため、水拭きはしないでください。

絶対に使用しないでください （表面の塗装などが落ちることがあります）
酸性･アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー･ベンジン）など

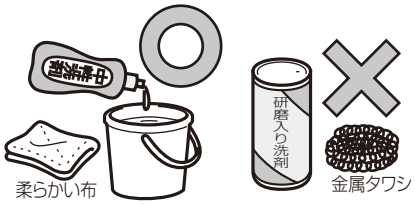
●使用上に異常・不具合が生じ、ご自身で対処できない場合は、お取扱いの施工店または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

アクリル系パネル・ポリカーボネートを使用している製品

キズが付きやすい素材のため、お手入れは以下の手順で行ってください。
※お手入れには必ず柔らかい布をご使用ください
①水を十分に含ませた柔らかい布で、表面のゴミを優しく落とします。
②ぬるま湯で薄めた中性洗剤と布（またはスポンジ）で洗浄します。
③水を十分に含ませた別の布で、洗剤の成分を軽く拭き取ります。
④最後に、乾いた布で完全に水気を拭き取ってください。

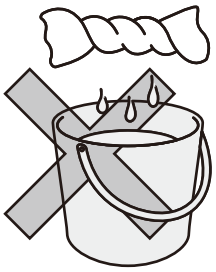
ガラスを使用している製品

●**日常のお手入れ：**乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。
●**ひどい汚れ・落ちにくい汚れ：**薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭き取り、仕上げに乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。
※キズが付くため、金属タワシ･研磨剤入り洗剤などは使わないでください。



床（木製品）

●**日常のお手入れ：**乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。
●**ひどい汚れ・落ちにくい汚れ：**固く絞った濡れぞうきんで拭き、仕上げに乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。
※汚れに応じて中性洗剤などを使用した際は、洗剤をきれいに拭き取ってください。
※目地部分を強くこすると色落ちすることがあります。



●**クレヨン・油性ペンなどが表面に付着した場合：**
アルコールまたはシミ抜き用ベンジンを含ませた布ですみやかに拭き取ってください。

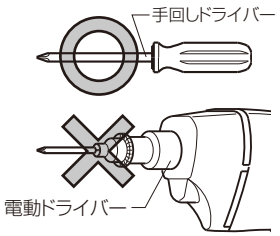
調整方法について

●ご使用の間、納まりに関して不都合が生じた場合は、以下の要領で調整を行ってください。

お願い

●掲載されていない調整は無理に行わないでください。製品が破損することがあります。ご不明な点は、お取扱いの施工店または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

●建付け調整は手回しドライバーで行ってください。部品が破損することがあります。

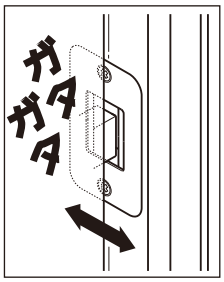


■調整方法を予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。

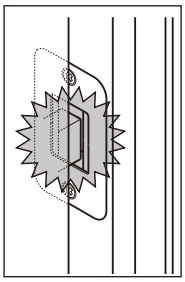
ラシッサ室内ドア・ラフィス室内ドア(ライン枠)／ストライクによる建付け調整

ラッチがストライクの中でガタついたり、
ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

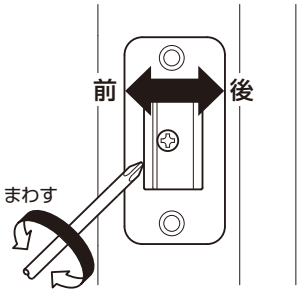
■ラッチがストライクの中でガタつく



■ラッチがかからない

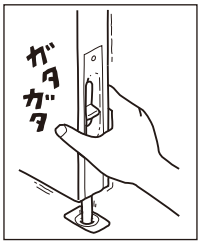


調整可能範囲		
	前	後
ラシッサ	2mm	4mm
ラフィス	2.8mm	2mm

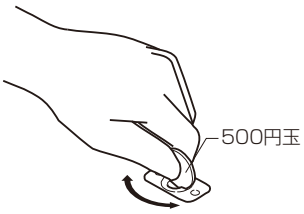


ラシッサ親子ドア／子扉のガタツキ調整

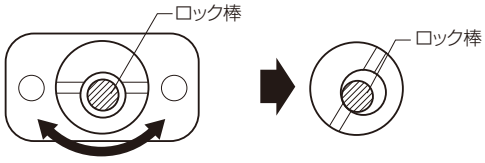
■子扉がガタつく



●コインなどで穴部分を回転させ、ロック棒をフランス落とし受けの内側に当てるようにしてください。



【フランス落とし受け】



調整方法について

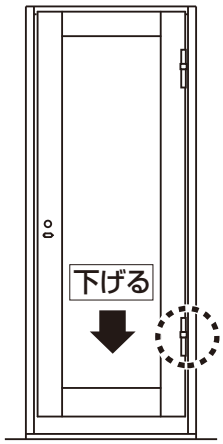
室内ドア／旗丁番による建付け調整

丁番の固定ねじ、調整ねじは回し過ぎると外れたり、
破損する場合がありますので、ご注意ください。

ドア建付け
調整方法
動画

不具合例

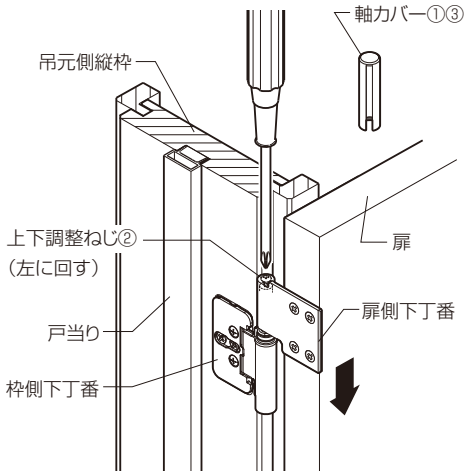
■扉の上部が枠に当たる。



（調整範囲　下:3mm）

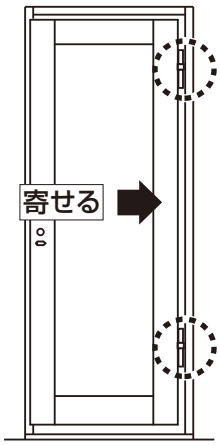
調整方法

①扉側下丁番の軸カバーを外す。
②上下調整ねじを左に回し扉を下げて位置を決める。
③軸カバーをはめる。



不具合例

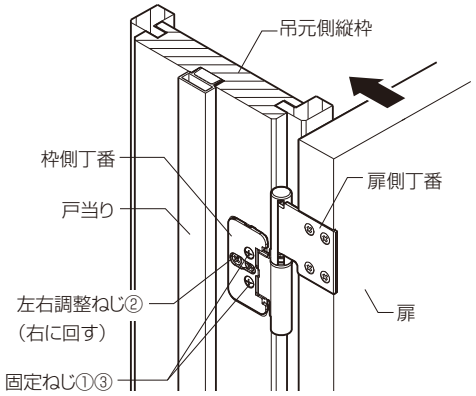
■扉の戸先側が枠に当たる。



（調整範囲　吊元側:1.5mm）

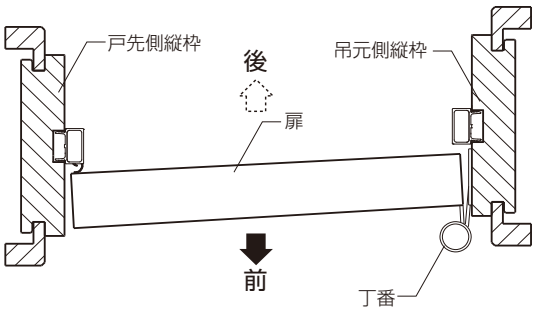
調整方法

①固定ねじをゆるめる。
②左右調整ねじを右に回して扉を吊元側に移動し位置を決める。
③固定ねじを締める。
④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。



不具合例

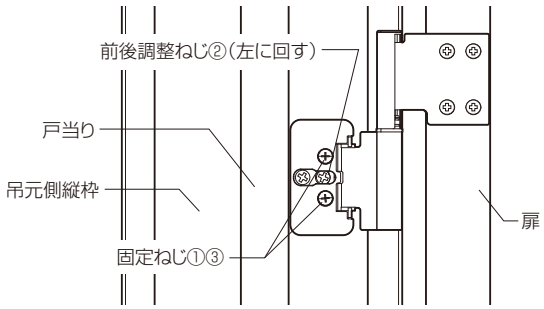
■戸先側の枠が前に出ている。



（調整範囲　前:4mm）

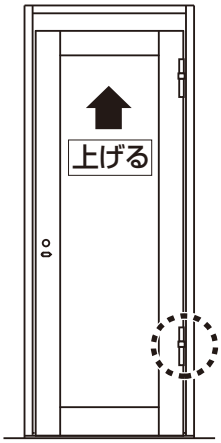
調整方法

①固定ねじをゆるめる。
②前後調整ねじを左に回して扉を前に移動させる。
③固定ねじを締める。
④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。



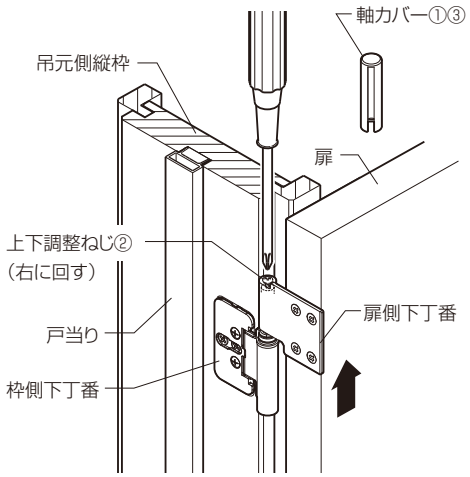
不具合例	調整方法

■扉の下部が枠に当たる。



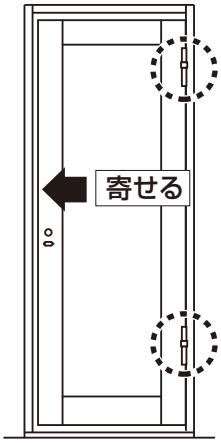
（調整範囲　上:3mm）

①扉側下丁番の軸カバーを外す。
②上下調整ねじを右に回し扉を上げて位置を決める。
③軸カバーをはめる。



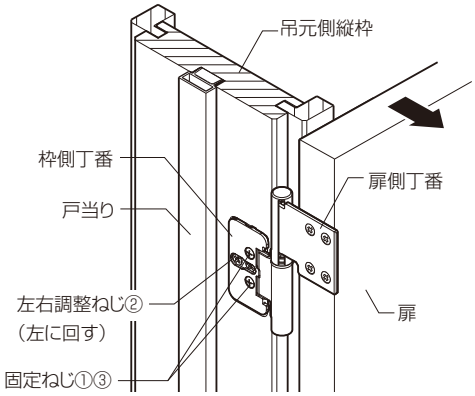
不具合例	調整方法

■扉の戸先側のすき間が大きすぎる。



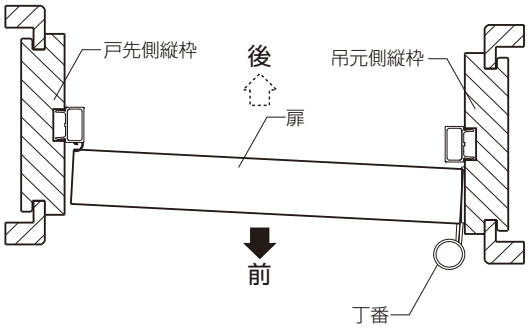
（調整範囲　戸先側:1.5mm）

①固定ねじをゆるめる。
②左右調整ねじを左に回して扉を戸先側に移動し位置を決める。
③固定ねじを締める。
④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。



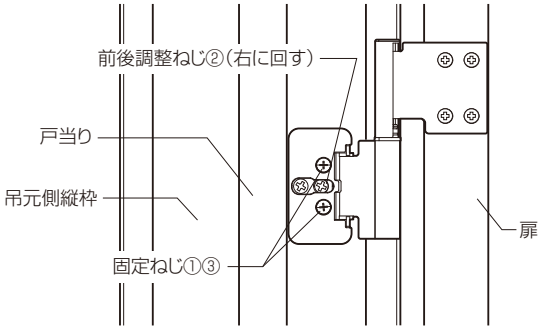
不具合例	調整方法

■吊元側の枠が前に出ている。



（調整範囲　後:1mm）

①固定ねじをゆるめる。
②前後調整ねじを右に回して扉を後に移動させる。
③固定ねじを締める。
④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。

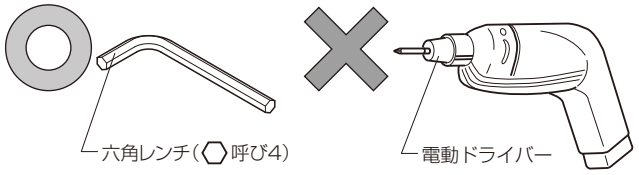


調整方法について

ラシッサ室内ドア／シークレットヒンジによる建付け調整

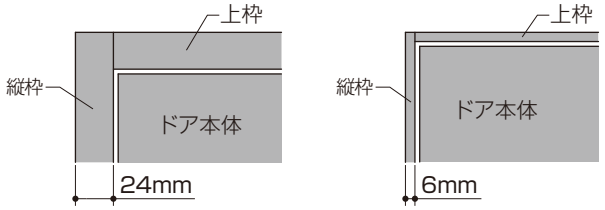
建付け調整時のお願い

●製品破損となるので、六角レンチを使って手で回してください。

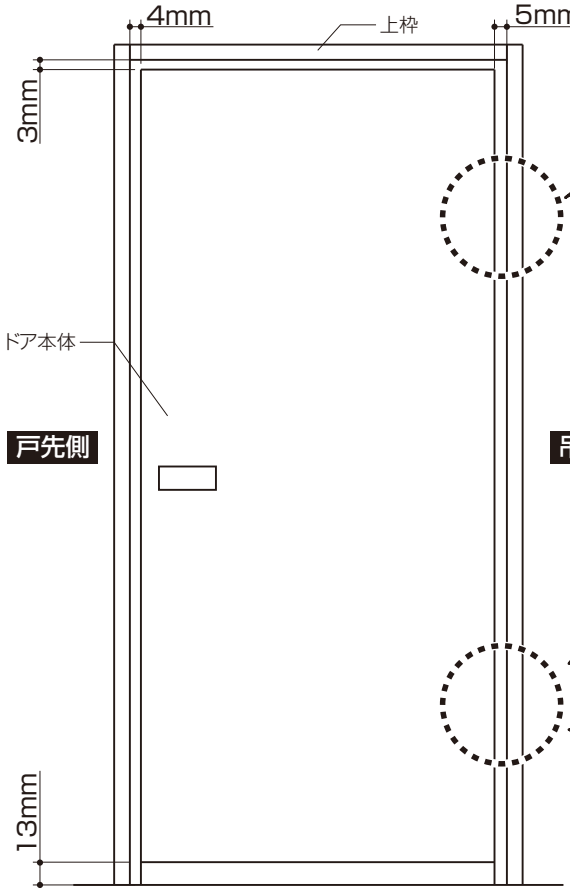


※こちらは**ラシッサ**の調整方法です。
シリーズによって縦枠・上枠の厚みが異なります。
調整前にシリーズが正しいかご確認ください。

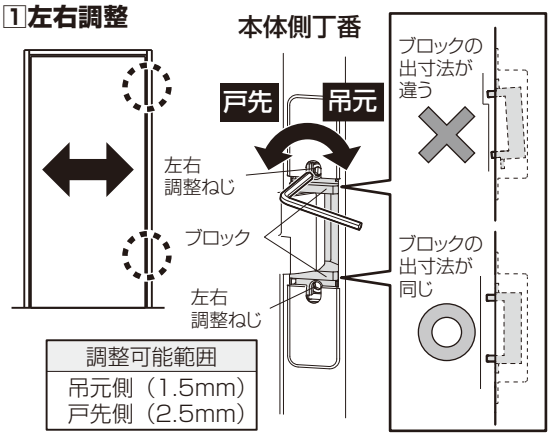
●ラシッサ　　●ラフィス(隠し丁番)



ラフィスの調整方法は
P.26をご覧ください。



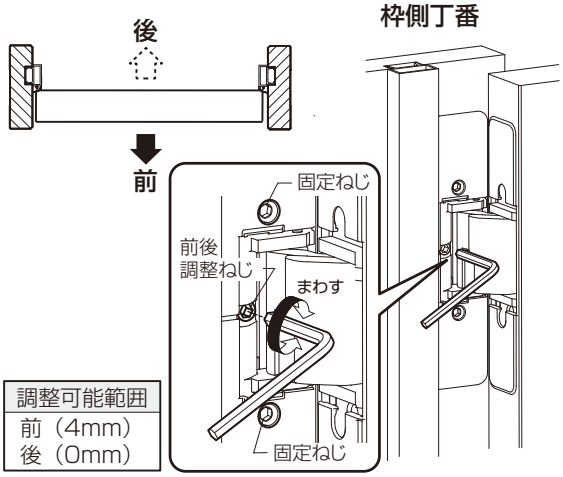
1 左右調整



調整可能範囲
吊元側（1.5mm） 戸先側（2.5mm）

①２つの左右調整ねじを少しずつ同じ量だけ回してください。戸先側へは調整範囲を超えて回さないでください。

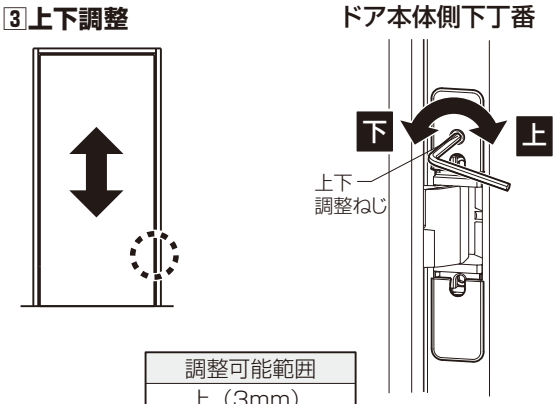
2 前後調整



調整可能範囲
前（4mm） 後（0mm）

①固定ねじを少しだけゆるめてください。
②前後調整ねじを左右に回して、ドアを前後に移動し位置を決めてください。
③固定ねじをゆるみなく締め付けてください。

3 上下調整



調整可能範囲
上（3mm） 下（3mm）

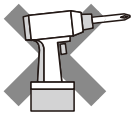
①本体側下丁番にある、上下調整ねじを回して上下調整してください。

ドア建付け調整方法
動画

ラフィス室内ドア／隠し丁番（ライン枠用）による建付け調整

建付け調整時のお願い

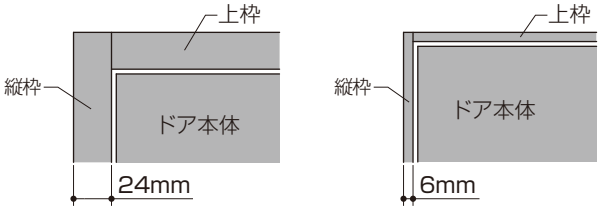
●製品破損となるので、六角レンチ（⬡呼び4）および、手回しドライバーで調整してください。



電動ドライバー使用厳禁

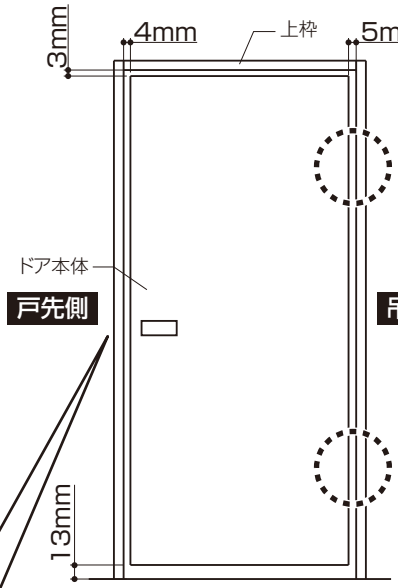
※こちらは**ラフィス**の調整方法です。
シリーズによって縦枠・上枠の厚みが異なります。
調整前にシリーズが正しいかご確認ください。

●ラシッサ(シークレットヒンジ)　●ラフィス



ラシッサの調整方法は
P.25をご覧ください。

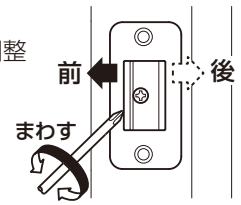
●標準状態のすき間寸法



4 前後調整

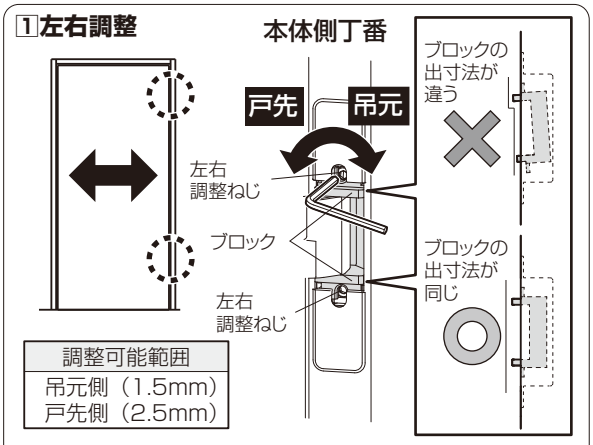
①プラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

調整可能範囲
前（2mm）
後（4mm）



ドア建付け調整方法
動画

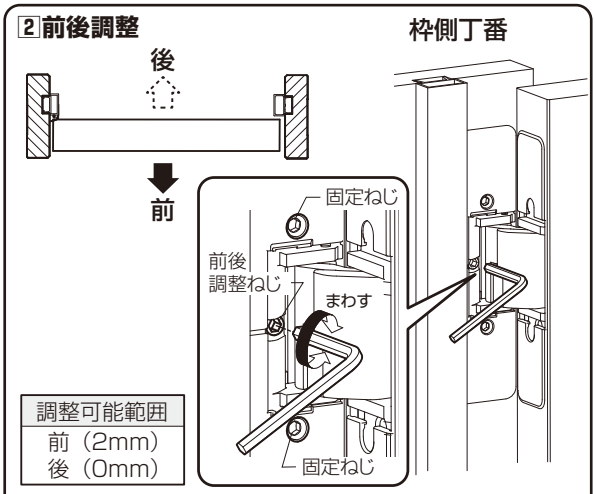
1 左右調整



調整可能範囲
吊元側（1.5mm）
戸先側（2.5mm）

①2つの左右調整ねじを半回転ずつ均等に回してください。（ブロックの出寸法は同じにしてください。）
戸先側へは調整範囲を超えて回さないでください。

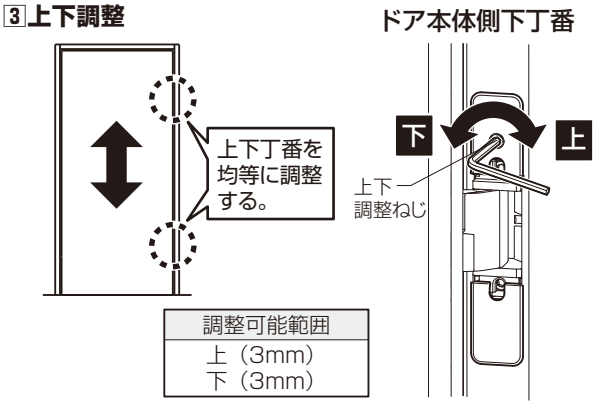
2 前後調整



調整可能範囲
前（2mm）
後（0mm）

①固定ねじをゆるめてください。
②前後調整ねじを左右に回して、ドアを前後に移動し位置を決めてください。
③固定ねじをゆるみなく締め付けてください。

3 上下調整



調整可能範囲
上（3mm）
下（3mm）

①本体側下丁番の上下調整ねじを回します。
②本体側上丁番の上下調整ねじを下丁番と同じだけ回します。
※上下調整は上下の丁番それぞれの調整ねじを少しずつ均等に回して行ってください。

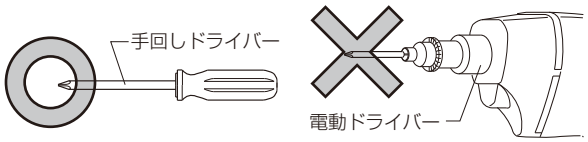
調整方法について

■異常時の対処方法

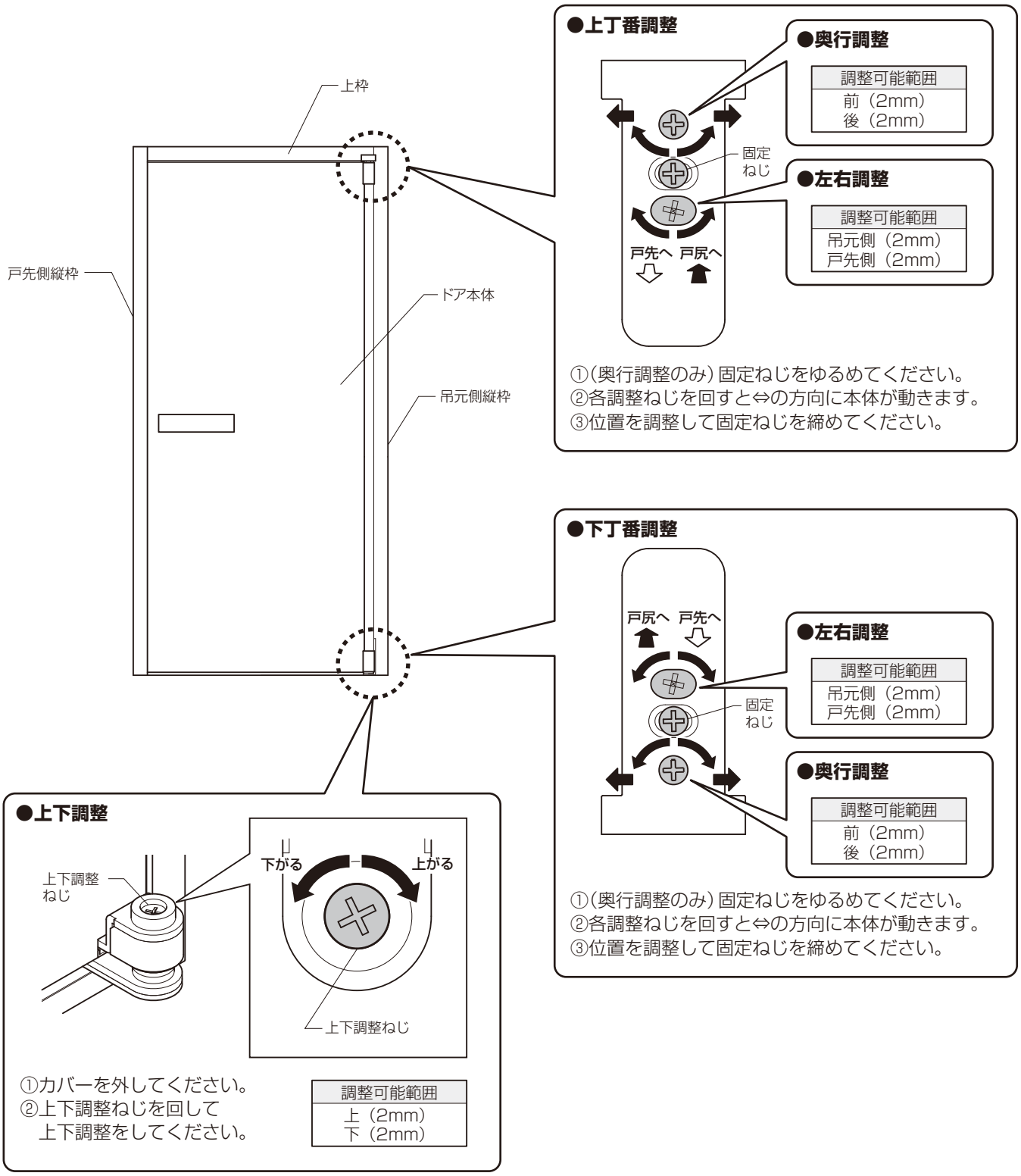
現　象		対処方法			
		調整部位	調整部品	実施内容	
ドア本体が枠に当たって開閉しにくい	ドア本体が戸先側縦枠に当たっている	左右調整ねじ	上丁番 下丁番	ドア本体を丁番側に寄せてください。	
	ドア本体の上部が戸先側縦枠に当たっている	左右調整ねじ	上丁番	①ドア本体を丁番側に寄せてください。	① ②
			下丁番	②（①でもあたる場合）ドア本体を戸先側に出してください。	
	ドア本体が丁番側戸当りに当たっている	前後調整ねじ	上丁番 下丁番	①ドア本体を前に出してください。	
		左右調整ねじ	上丁番 下丁番	②（①でもあたる場合）ドア本体を戸先側に出してください。	
ドア本体が閉まりきらない（ラッチが出てこない）	手でドア本体を戸当たり側へ押し込まないとラッチが出てこない	調整ねじ	ストライク	ストライクを前に出してください。	
	ラッチとストライクの距離（縦枠とドア本体とのすき間）が広すぎる	左右調整ねじ	上丁番 下丁番	ドア本体を戸先側に寄せてください。	
	ドア本体上部が戸先側戸当たりに先に当たっている	前後調整ねじ	上丁番	①ドア本体を前に出してください。	① ②
			下丁番	②(①でもあたる場合)ドア本体を後ろに下げてください。※ねじが回らない場合は、調整しろがありません。	
	ドア本体下部が戸先側戸当たりに先に当たっている		上丁番	②(①でも改善しない場合)ドア本体を後ろに下げてください。※ねじが回らない場合は、調整しろがありません。	② ①
			下丁番	①ドア本体を前に出してください。	
ラッチがガタつく ガタガタ	ストライクの壁面とラッチの間に余裕がある	調整ねじ	ストライク	ストライクを後ろに下げてください。	
戸先上部の光漏れが気になる	すき間が均等でない（上が広い）	前後調整ねじ	上丁番	②(①でも改善しない場合)ドア本体を後ろに下げてください。※ねじが回らない場合は、調整しろがありません。	② ①
			下丁番	①ドア本体を前に出してください。	
戸先下部の光漏れが気になる	すき間が均等でない（下が広い）	前後調整ねじ	上丁番	①ドア本体を前に出してください。	① ②
			下丁番	②(①でも改善しない場合)ドア本体を後ろに下げてください。※ねじが回らない場合は、調整しろがありません。	
カバーがつけられない	下丁番の本体側カバーが浮いてしまう 穴なし	―	下丁番	■ラシッサ 下丁番の上側に穴有りカバーを取り付けてください。 ■ラフィス 上下丁番共通で上側に穴有りカバーを取り付けてください。	穴あり

ラフィス室内ドア／コンパクトピボット丁番による建付け調整

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



ドア建付け
調整方法
動画

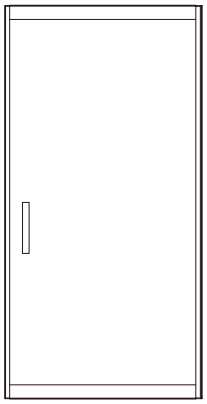


調整方法について

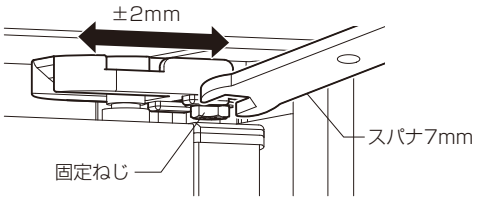
ラフィスアルミ建具ドア ヒンジによる調整

●左右調整（上下ヒンジ共通）
①カバーを外してください。
②固定ねじをスパナで緩めて軸を左右に動かしてください。
③位置を調整して、固定ねじを締めてください。

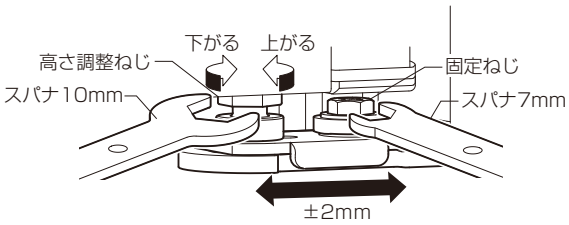
●上下調整（下ヒンジのみ）
①カバーを外してください。
②上下調整ねじをスパナで回して高さ調整してください。



●上ヒンジ調整
（左右調整±2mm）



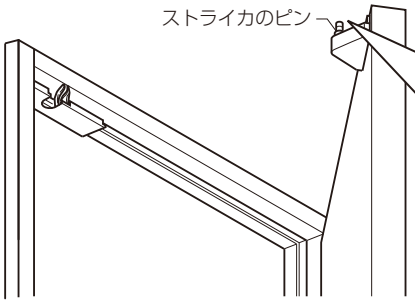
●下ヒンジ調整
（左右調整±2mm　上下調整±2mm）

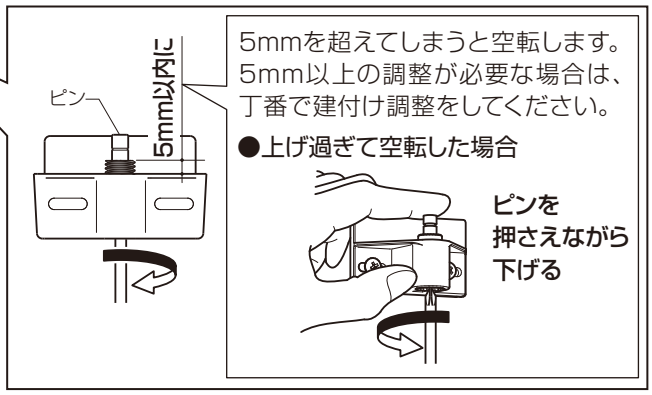


室内ドア（ソフトモーション）／ストライカの調整

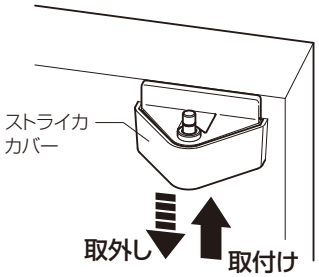
お願い
- ●ピンを上げ過ぎるとねじが空転します。空転した場合は、指でピンを押さえながら調整ねじを回して、ピンを下げてください。
- ●ソフトモーションを調整する前に、丁番でドア本体の建付け調整を行ってください。

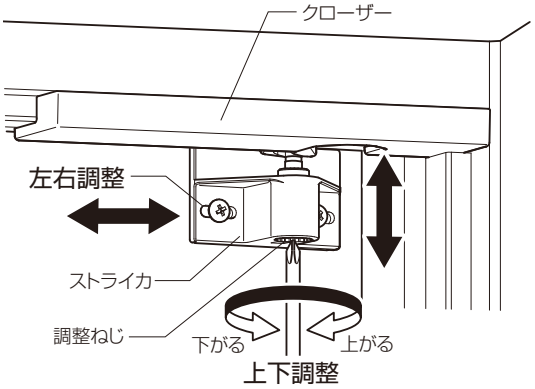
●調整はストライカカバーを取外し、行います。調整後は再度カバーを取付けてください。





調整手順動画





■ソフトモーション機能異常時の対処方法

現　象	原因	対処方法	
ドアが閉まりきらない	アームとストライカの位置がずれています	上下方向	上下調整でストライカピンの溝とアームの下面を合わせてください。 アーム　ピンの溝　3mm以内　アーム　3mm以内　ピンの溝　5mm以内　●上げ過ぎて空転した場合　ピンを押さえながら下げる
		左右方向	ねじをゆるめてストライカを左右に動かし、アームの入口の丁番側の面ぎりぎりにピンが通過するように合わせてください。調整後は再度ねじを締めなおしてください。 入口　入口にピンが入る　ねじ固定　スライド　アーム　ピン　※下から見るとピンがアームの内側に当たる。
	換気扇が強い 極端に強い風が吹いている	換気扇を弱める。 強風が入ってこないように窓を閉める。	
	クローザーカバーとストライカが接触している	丁番の上下調整でドアを下げてください。 ▶ドアの建付け調整 P.23、P.24	
	ドア本体が反っている	丁番の建付調整を行なった上で、ストライカの調整を行なってください。改善されない場合、ドア本体の交換が必要です。 ▶ドアの建付け調整 P.22 ～ 24	
ドアを開けるときアームが戻る	アームとストライカの位置がずれています	上下方向	上下調整でストライカピンの溝とアームの下面を合わせてください。 アーム　ピンの溝　3mm以内　アーム　3mm以内　ピンの溝　5mm以内　●上げ過ぎて空転した場合　ピンを押さえながら下げる
		左右方向	ねじをゆるめてストライカを左右に動かし、アームの入口の丁番側の面ぎりぎりにピンが通過するように合わせてください。調整後は再度ねじを締めなおしてください。 入口　入口にピンが入る　ねじ固定　スライド　アーム　ピン　※下から見るとピンがアームの内側に当たる。
ブレーキが全く効かない	ダンパーの破損	クローザーの交換が必要です。	
	ストライカピンの破損	ストライカピンの交換が必要です。	
ブレーキの利き具合がドアによって違う	商品特性上問題ありません。	本体の重量、建付け、部屋の広さ、風の強さ･向きにより同一にはなりません。	
強く閉めると丁番部分があおる	ドアを強く閉めすぎている。	あおらない強さで閉めてください。 繰り返し行うと丁番取付け部がゆるみ、丁番外れの原因になります。	

調整方法について

ラフィス 室内ドア ソフトモーションの調整

●扉が最後まで閉じ切らない

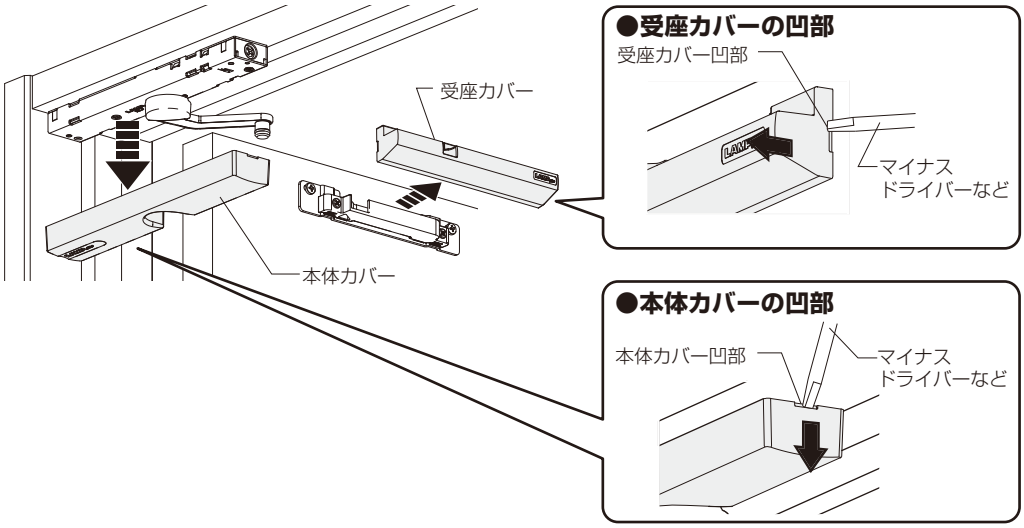
→閉止力調整を行ってください。

●扉を開けた際アームが出てこない

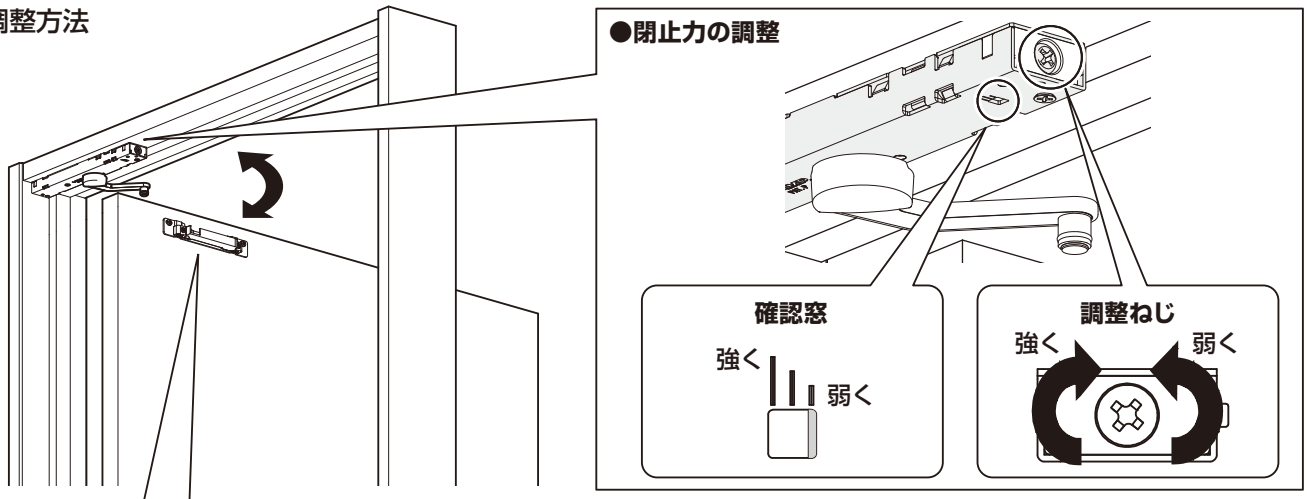
→受け座とアームの調整を行ってください。

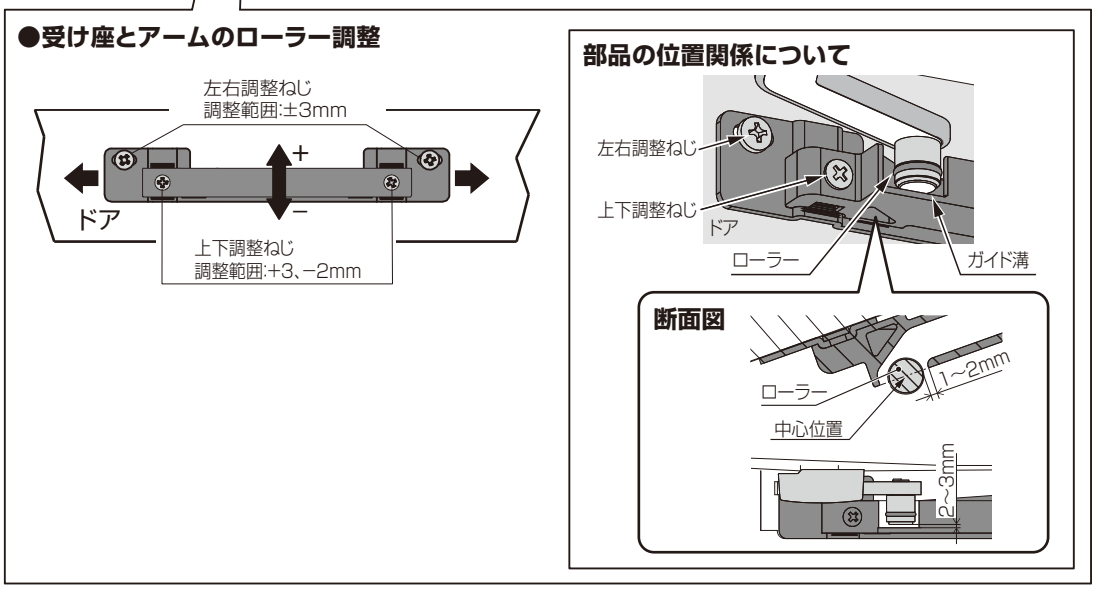
■カバーの外し方

カバーの凹み部にマイナスドライバーなどを入れて矢印の方向に引き出してください。



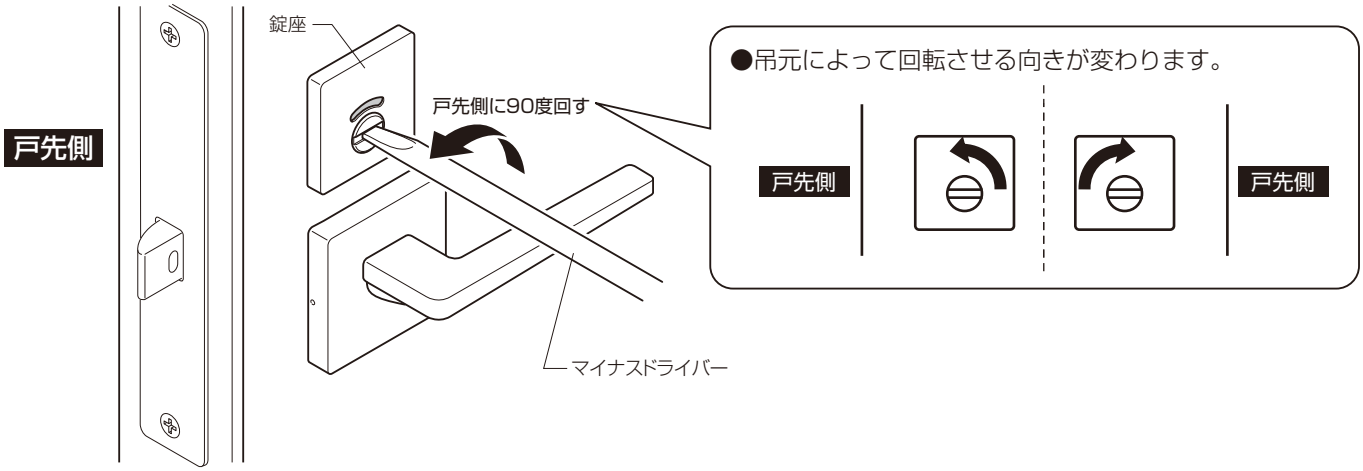
■調整方法



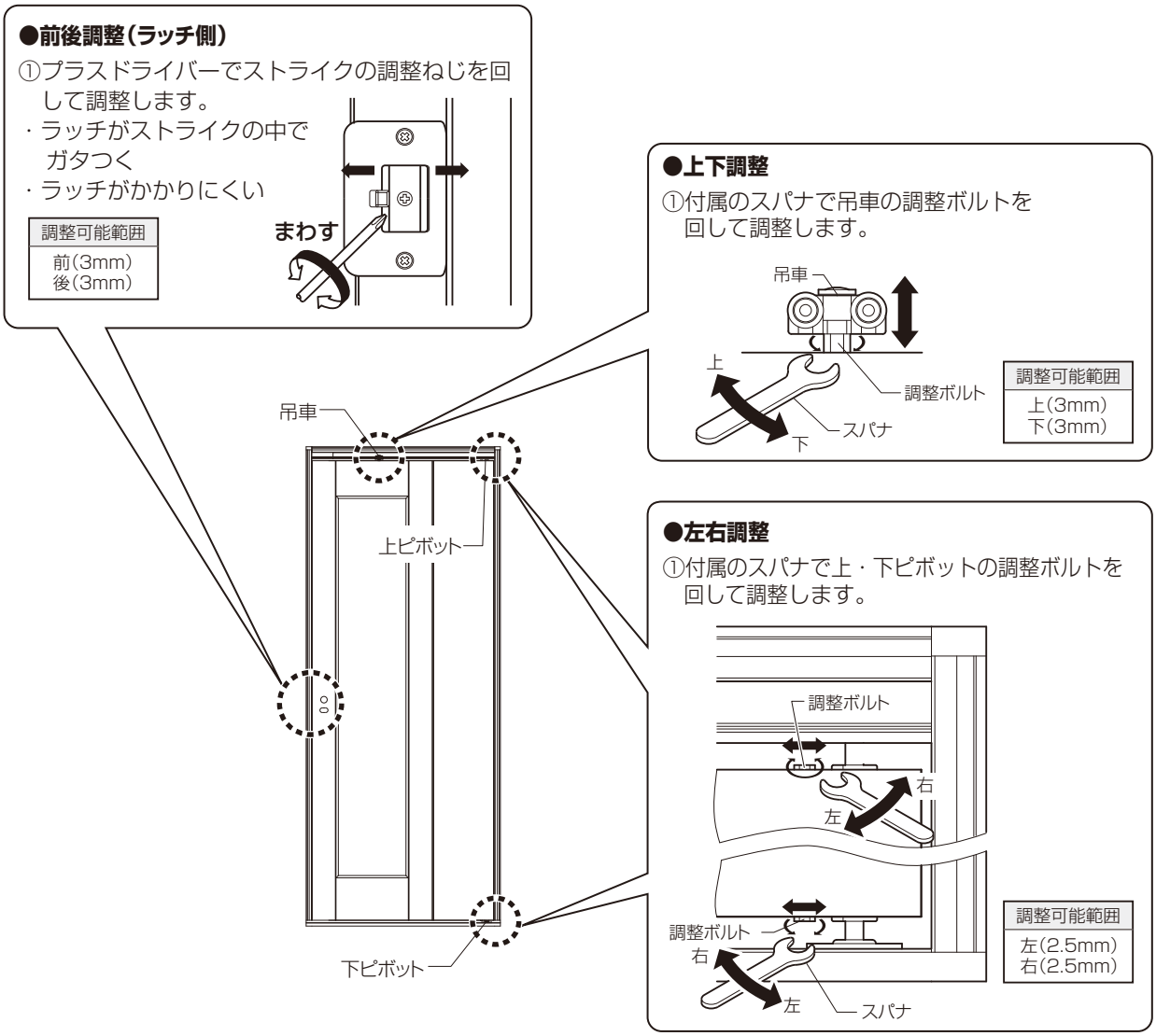


室内ドア／表示錠・簡易錠　非常解錠方法

●錠座の凹部にマイナスドライバーまたはコイン（10円玉）を差し込み、戸先側へ向かって90度回します。



ラシッサ中折れドア／左右・上下調整

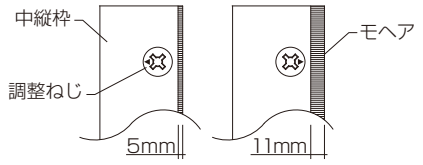


調整方法について

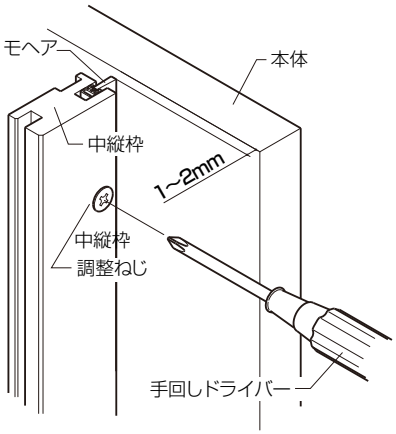
ラシッサ室内引戸／中縦枠の調整

■中縦枠の調整（調整幅 +6mm）

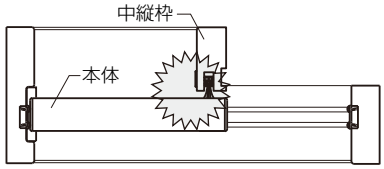
①中縦枠のモヘア調整ねじを手回しドライバーで回してモヘアの出寸法を調整してください。
②調整後、本体とモヘアの先端が 1 ～ 2mm のすき間が確保されているか確認してください。



調整ねじの▲マークがモヘア側に向いている時がモヘアが最も出ている状態で、逆に向いている時が最も引っ込んでいる状態です。



●片引き・引分け



本体と中縦枠モヘアが接触しすぎると、開閉が重くなります。

※本体とモヘアのすき間が 1 ～ 2㎜程度になるように調整してください。

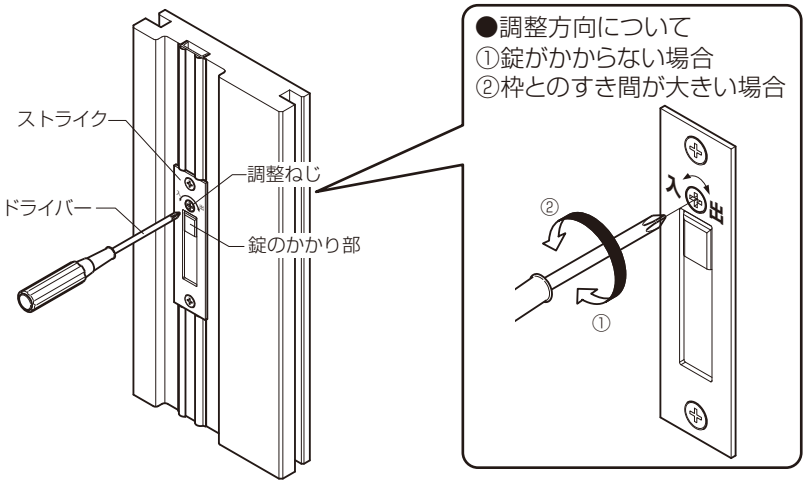
モヘア
調整動画

569522996002

室内引戸／引戸錠のかかり調整

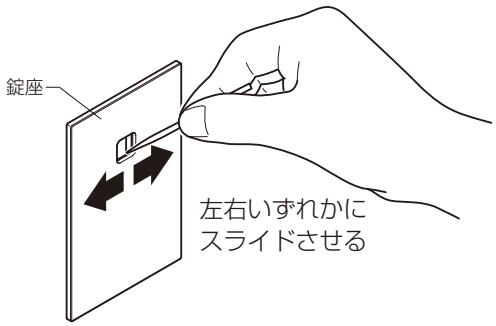
■引戸錠のかかり調整

●ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



室内引戸／プッシュ錠 非常解錠方法

●錠座の表示窓（解錠穴）のくぼみに先の細いもの（つまようじなど）を挿入し、横へスライドさせます。



ラシッサ 室内引戸 Vレール方式／戸車調整

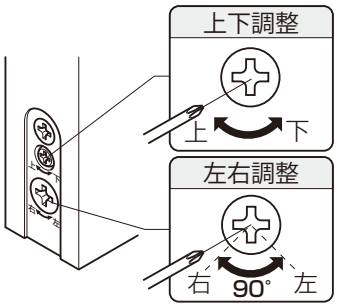
■上下調整（調整幅＋ 4mm、－ 2mm）

●本体両下端の上下調整ねじを回して調整してください。

■左右調整（調整幅± 2mm）

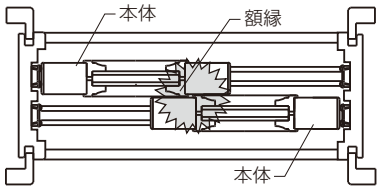
●本体両下端の左右調整ねじを回して調整してください。

※左右調整ねじの可動範囲は 90°です。これを超えて無理に回さないでください。

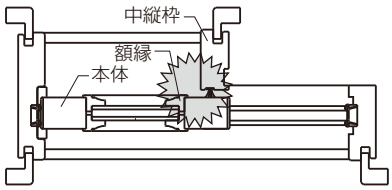


※左右調整する場合は、本体同士がぶつからないようにご注意ください。また、本体と中縦枠モヘアが接触しすぎて、開閉が重くならないよう調整してください。

●引違い･3枚･4枚建



●片引き･引分け



Vレール引戸
建付け
調整動画

973347946002

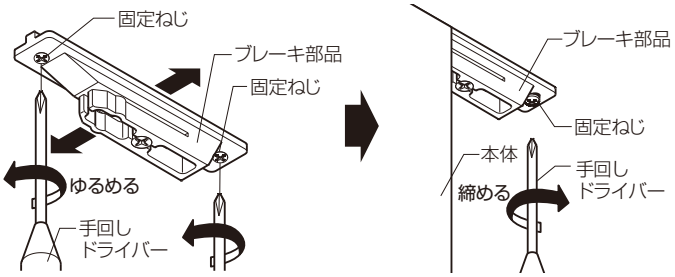
⚠ 注　意

●本体と上レールへのかかりを 5mm 以上確保してください。かかりが少ない場合は、本ページの本体の調整を必ず行ってください。本体が枠から外れてケガをするおそれがあります。

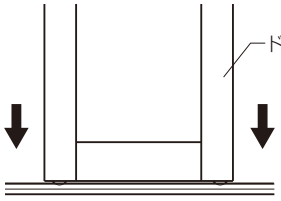
ラシッサ 室内引戸 Vレール方式／ブレーキ調整

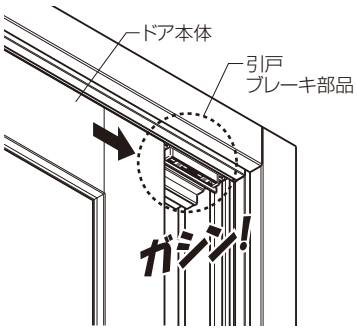
■ブレーキの左右調整

●本体の左右調整時、ブレーキの左右調整も行ってください。
上レール内側に付いているブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、図のように本体を途中まで閉じてください。このまま片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。



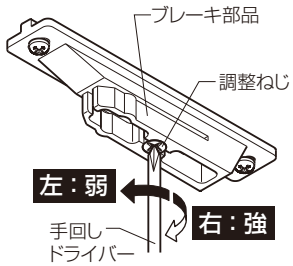
●本体がブレーキ部品に当たる時は、戸車の上下調整ねじを回して本体を下げてください。





お願い

●調整ねじを弱方向に回す場合、ブレーキの表面からねじ頭の出寸法が 1.5mm 以内になるように調整してください。
回しすぎるとねじが抜けます。



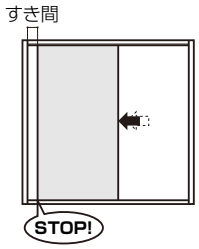
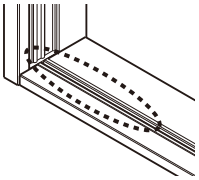
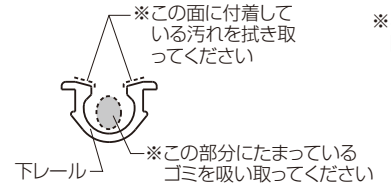
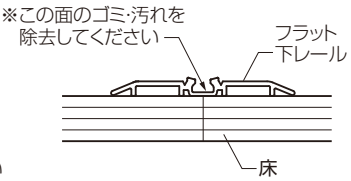
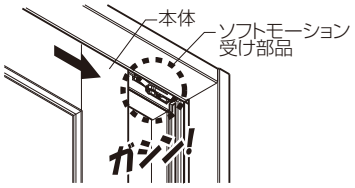
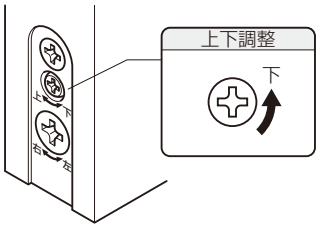
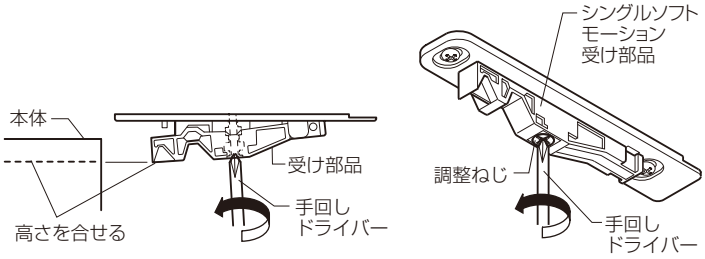
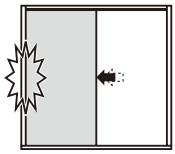
調整方法について

ラシッサ 室内引戸Vレール方式 ソフトモーションの調整

シングルソフト
モーション
調整動画

973032775002

■ソフトモーション機構の調整方法

現　象	原　因	対処方法
閉まりきらない  	●下レールに粉じんやゴミがたまったり付着している。 	下レールを清掃してください。 **■Vレールの場合**  **■フラット下レールの場合** 
	●本体がソフトモーション受け部品と接触している。  	戸車を下げてください。 
本体があおる 	●受け部品の高さがあっていない。	調整ねじを回して受け部品の高さを調整してください。 
ソフトモーションが作動しない 		

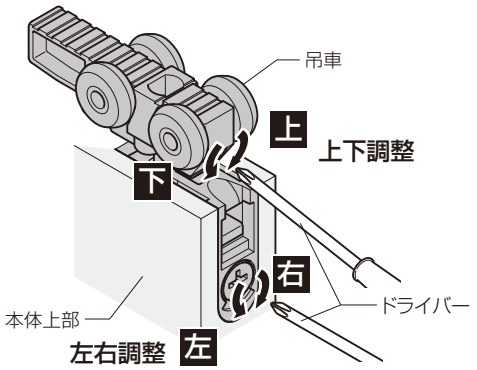
室内引戸（上吊・アウトセット方式）可動間仕切り引戸方式／吊車による建付け調整

■上下調整（調整幅＋4mm、－1mm）

●プラスドライバーで、吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
※床面と本体下部とのチリ寸法は、8（－ 1、+2）mm が標準です。
※本体と床のすき間が範囲からはずれていると、ガイドピン・ガイドスライダーがはずれたり、ガイドピン・埋込敷居・フラット下レールと引戸の下部がこすれる場合があります。

■左右調整（調整幅±2mm）

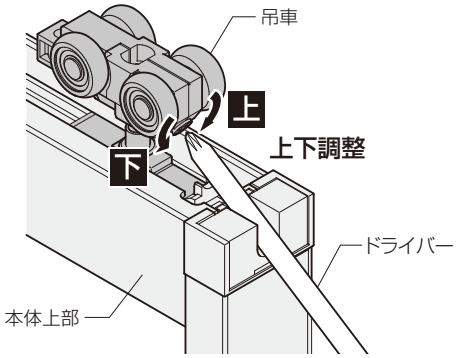
●前後調整は、プラスドライバーで吊車下部の調整ねじを右に回すと本体が右へ動き、左に回すと本体が左に動きます。



ラフィス室内引戸アルミガラス建具（上吊・アウトセット方式）可動間仕切り引戸方式／吊車による建付け調整

■上下調整（調整幅＋4mm、－1mm）

●プラスドライバーで、吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
※床面と本体下部とのチリ寸法は、8（－ 1、+2）mm が標準です。
※本体と床のすき間が範囲からはずれていると、ガイドピンがはずれたり、ガイドピンと引戸の下部がこすれる場合があります。



上吊引戸／引込み調整

■ソフトモーション機構の調整方法

現　象	原　因	対処方法
閉まりきらない すき間 STOP!	●下レールやフラット下レールに粉じんやゴミがたまったり付着している	下レールを清掃してください。 **■Vレールの場合** ※この面に付着している汚れを拭き取ってください 下レール ※この部分にたまっているゴミを吸い取ってください **■フラット下レールの場合** ※この面のゴミ･汚れを除去してください フラット下レール 床
	●本体とモヘアが接触している ※片引き･引分けのみ 中縦枠 本体	吊車の左右調整ねじで本体にモヘアが触れて開閉が重くならないように調整してください。 **【吊車の調整】** 左右調整ねじを左に回すと本体が左に動き、右に回すと右に動きます。（調整幅左右各2mm） 上 上下調整 下 右 左右調整 左 ドライバー
ブレーキが効かない	●吊車（ソフトモーション付）のラッチが上がっている	本体を全開した後、全閉することを1～2回繰り返してください。ソフトモーション機構が自動復帰します。 全開 全閉

■ソフトモーションには商品の構造上、以下の現象が発生します。

製品不具合ではありませんので、あらかじめご了承ください。

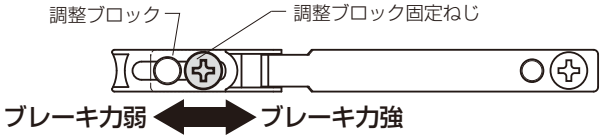
・開閉の際にカチッという部品の作動音が生じます。
・バネを採用している為、扉を開ける際に途中扉が重く感じる部分があります。
・オイルダンパー（緩衝装置）を使用している為、夏季と冬季（部屋の温度差）で引き込み速度が異なる場合があります。
・扉の重量、建付け状況により、扉の引き込み速度が異なる場合があります。
・重量の重い扉を強めに閉めると、ブレーキ感が弱く感じる場合があります。
・重量の軽い扉を勢いよく閉めると、扉戸先の浮き上がり（つっかかり）が生じる場合があります。
・レール、戸車にゴミなどが付着し動きが悪くなると、扉が閉まりきらないことがあります。

調整方法について

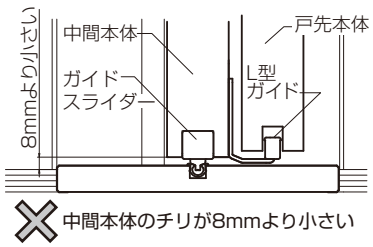
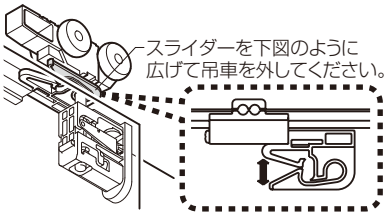
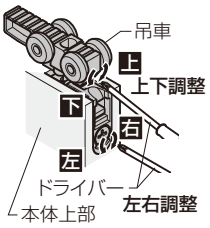
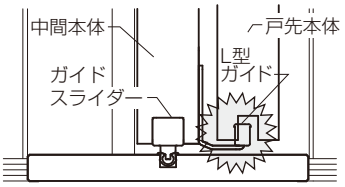
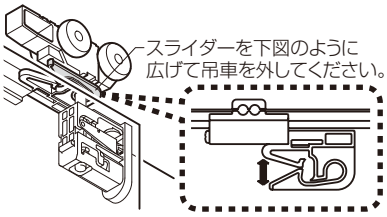
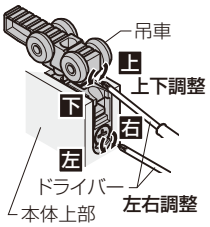
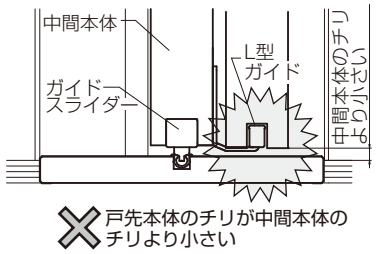
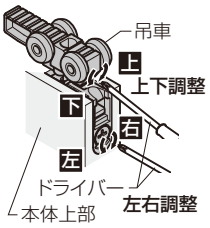
上吊引戸／ブレーキ調整

■ブレーキの調整

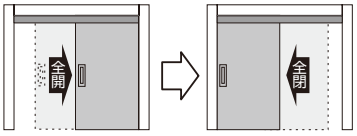
●上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ブロック固定ねじを２回転までゆるめ、調整ブロックをスライドさせて、ブレーキ力を調整してください。調整後は、固定ねじを締めてください。



ラシッサ 上吊連動引戸／吊車調整

現　象	原　因	対処方法
開閉が重い	●下枠とガイドスライダーがこすれている  	下枠とガイドスライダーがこすれないように調整してください。 ■中間本体の連動を解除する スライダーから戸先本体の吊車を外します。調整が完了したら逆の手順でスライダーに戸先本体の吊車を取付けてください。 ■吊車の調整 吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。（調整幅上 4mm、下 1mm）  
	●戸先本体とＬ型ガイドが見込方向でこすれている  	戸先本体とＬ型ガイドがこすれないように調整してください。 ■中間本体の連動を解除する 連動ユニットのスライダーから戸先本体の吊車を外します。調整が完了したら逆の手順でスライダーに戸先本体の吊車を取付けてください。 ■吊車の調整 吊車下部の調整ねじを左に回すと本体が左に動き、右に回すと右に動きます。（調整幅左右各 2mm）  
	●戸先本体とＬ型ガイドが高さ方向でこすれている  	戸先本体とＬ型ガイドがこすれないように、戸先本体または中間本体を調整してください。 ※中間本体を下げる場合はガイドピンとのこすれ、床とのこすれに注意してください。 ■吊車の調整 吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。（調整幅上 4mm、下 1mm） 

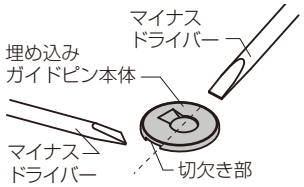
ラシッサ 上吊連動引戸／引込み調整

現　象	原　因	対処方法
ブレーキが効かない	●吊車（ソフトモーション付）のラッチが上がっている	本体を全開した後、全閉することを1～2回繰り返してください。ソフトモーション機構が自動復帰します。 

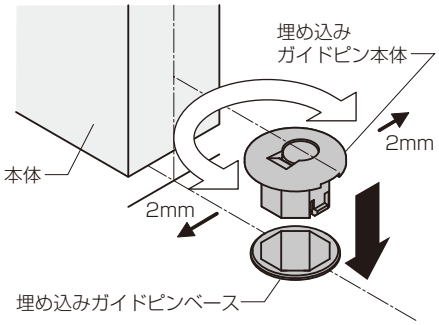
上吊引戸／ガイドピンの調整

■前後調整（調整幅± 2 mm）

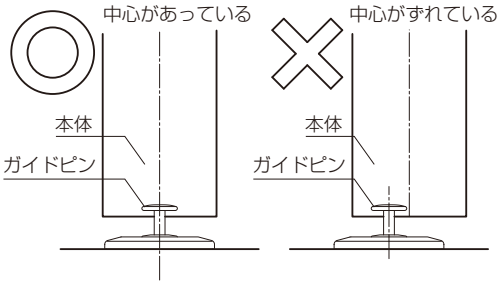
●ガイドピンにある切欠きにそれぞれマイナスドライバーを入れて外してください。
※床にキズがつかないようにマイナスドライバーの下にあて布をして外してください。



●本体が前後に動いていないことを確認し、本体の中心線上にガイドピンの先端がくるようにガイドピンをまわして位置をあわせてください。
※中心がずれていると、本体の開閉時にガイドピンが外れてしまう場合があります。
※ガイドピンケース内部、ガイドピン本体にゴミなどが入り込んでいる場合はきれいに取り除いてください。



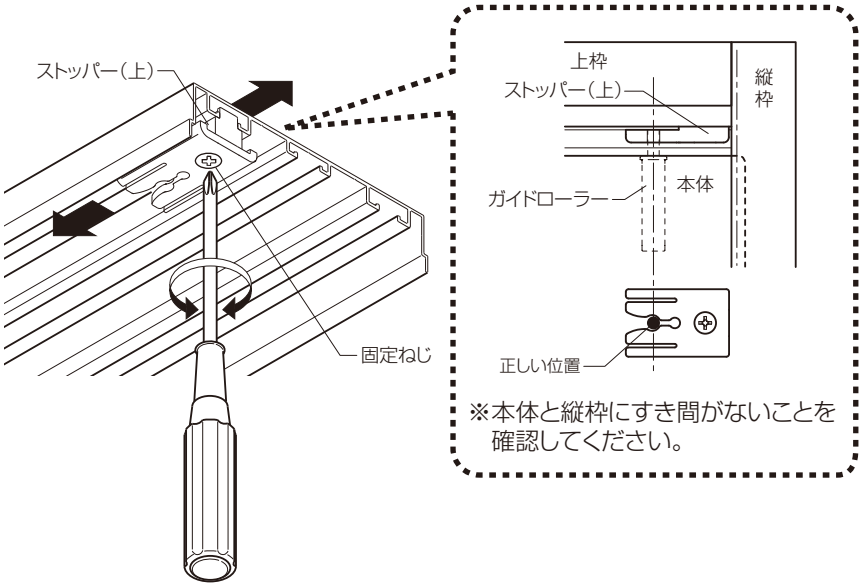
●位置があったらガイドピンをガイドピンケースへ『カチッ』と音がするまで押し込んでください。



ラシッサ クローゼット連動引戸タイプ／ストッパー調整

■ストッパーの調整

①ストッパーの固定ねじをゆるめます。
②右図のように正しい位置にストッパーを動かします。
③ストッパーの固定ねじを締めてください。



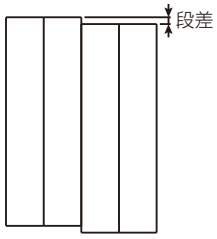
※本体の高さ調整を行ったあとにストッパーの位置を調整してください。
※ガイドローラーがストッパーの正しい位置におさまるようにしてください。

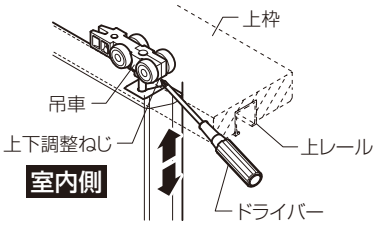
調整方法について

クローゼット折れ戸／吊車による建付け調整（レールタイプの場合）

■段違い（上・下）の調整

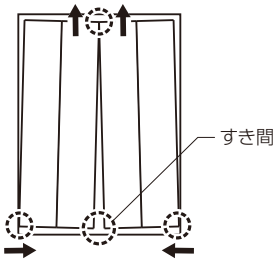
●本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回し調整してください。
(上下調整幅+5mm
−1mm)





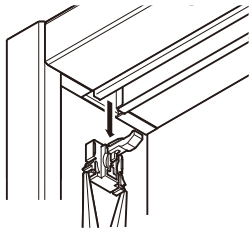
■本体同士のすき間の調整

●吊車上下調整および、ガイドローラー固定金具で左右調整を行います。



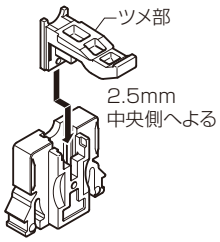
■フリー・ピボット切替カセットの外し方

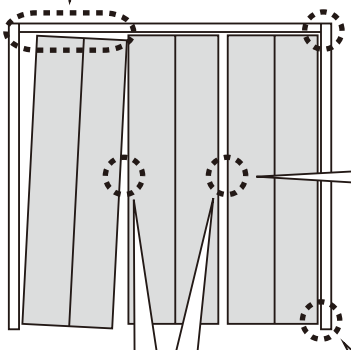
①ペンチなどでカセットの端部を挟み込みます。
②下方向へ引き抜きます。



■本体同士のすき間を小さくする方法

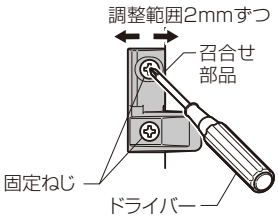
●フリー・ピボット切替えカセットを調整して小さくします。
①ペンチなどでカセットを挟み込み、下方向へ引き抜きます。
②切替カセットから爪部を外し、手前溝へ差し込んでください。
③枠に差し込んでください。
※1P～ 2Pの場合は、本体同士が干渉します。





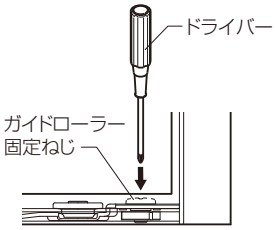
■召合せ部品の調整

●固定ねじをドライバーでゆるめて調整してください。



■ガイドローラー固定金具の調整

●本体をずらしてガイドローラー固定金具の固定ねじをドライバーでゆるめて移動させます。



クローゼット折戸
本体建付け
調整方法動画
973347564002

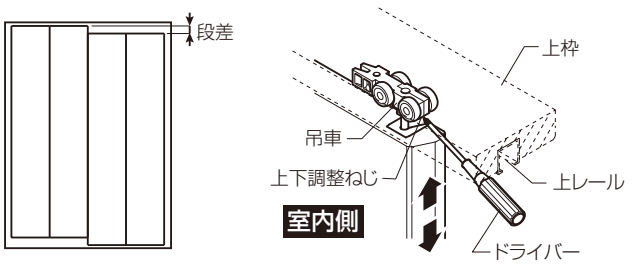
クローゼット折戸
フリー・ピボット
切替方法動画
973347563002

フリー・ピボット
切替カセット
着脱方法動画
973347561002

クローゼット折れ戸／吊車による建付け調整（ノンレールタイプの場合）

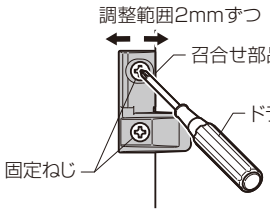
■段違い（上・下）の調整

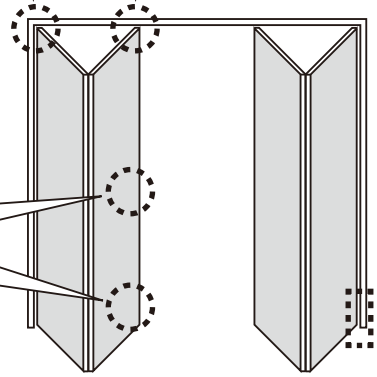
●本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回し調整してください。
（上下調整量+5mm
−1mm）



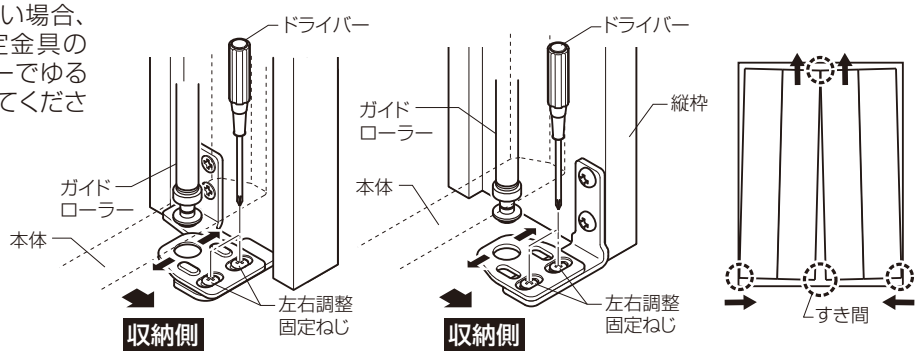
2P仕様の場合
■召合せ部品の調整

●固定ねじをドライバーでゆるめて調整してください。





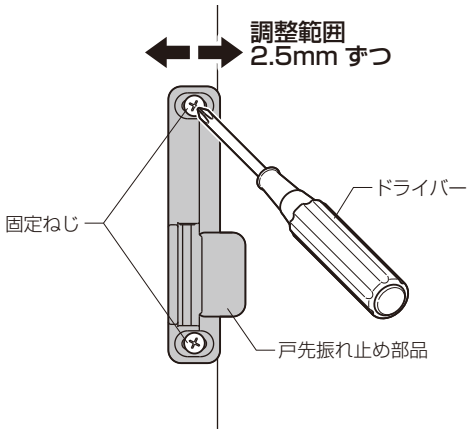
●本体同士のすき間が大きい場合、吊車上下調整及び、固定金具の左右調整ねじをドライバーでゆるめ、位置調整後に固定してください。（左右調整量±3mm）



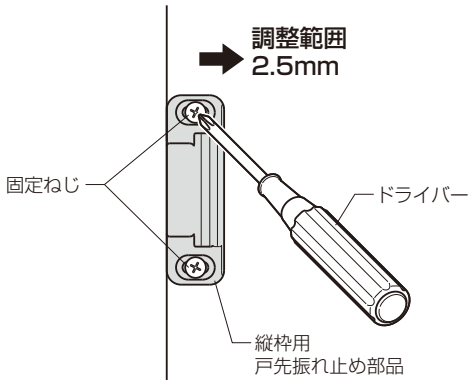
■戸先振れ止め部品の調整

●固定ねじをドライバーでゆるめて調整してください。

【ラフィス 扉側】



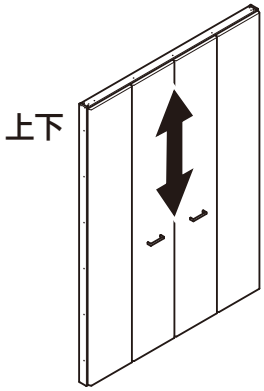
【ラフィス 縦枠側】

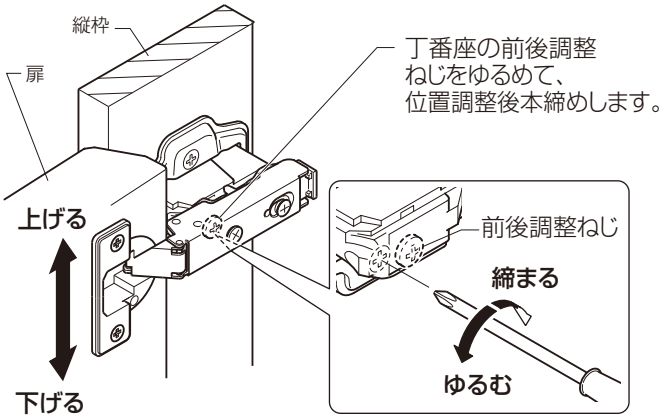


調整方法について

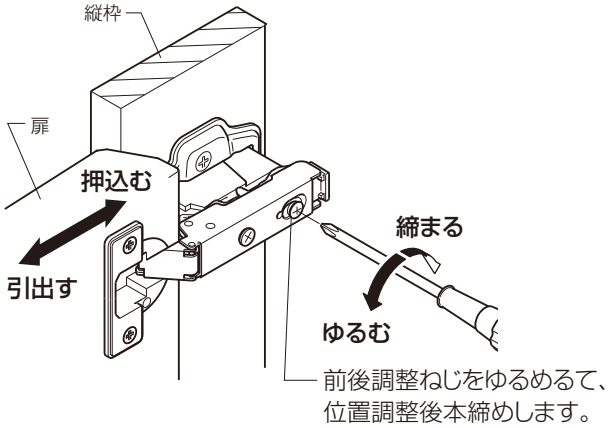
ラシッサ クローゼット折戸すっきりタイプ／スライド丁番、吊ヒンジによる建付け調整

■上下調整
（調整範囲：± 1.5mm）

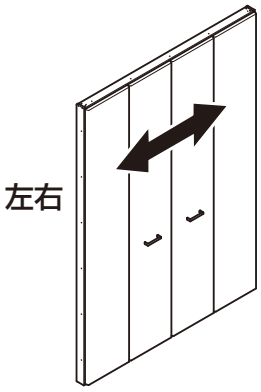


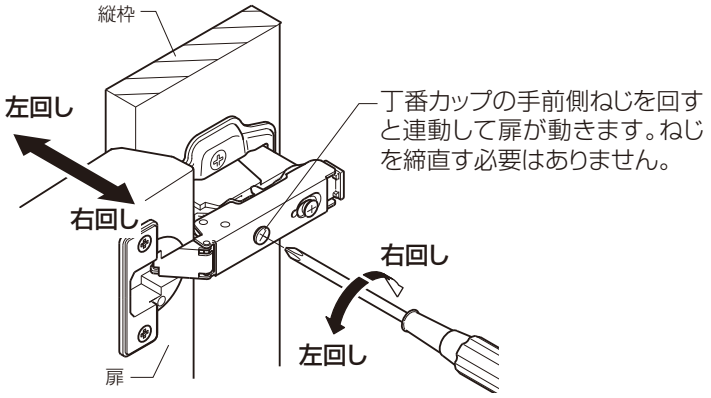


■前後調整
（調整範囲：± 2mm）

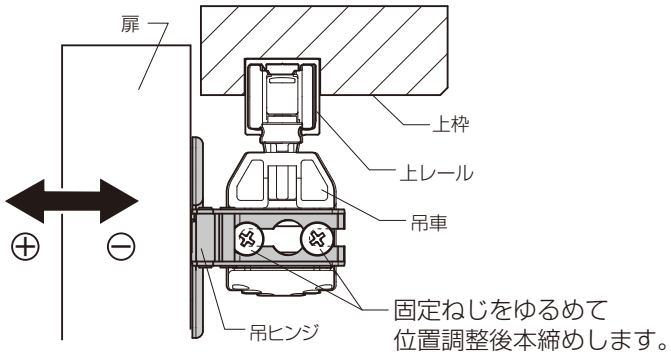


■左右調整
（調整範囲：吊元側へ 1mm、戸先側へ 3mm）





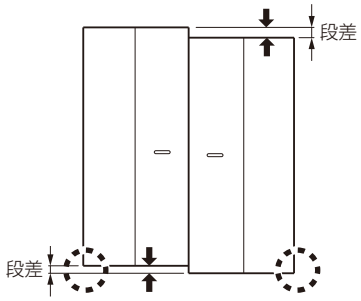
■吊ヒンジ調整
（調整範囲：＋ 1mm、－ 2.5mm）

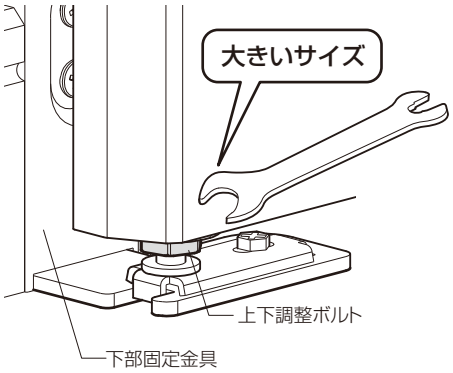


ラシッサ クローゼット折れ戸アウトセットタイプ／下部固定金具による建付け調整

■上下調整

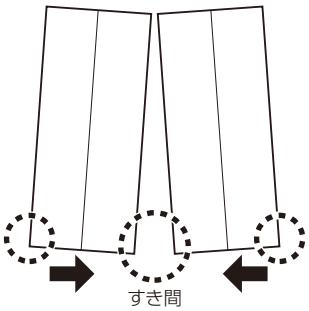
●本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、付属の調整スパナで下部固定金具の上下調整ボルトを回して調整します。（上下調整量：± 3mm）

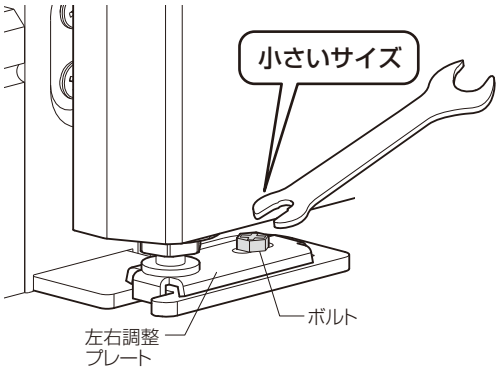




■左右調整

●付属の調整スパナで下部固定金具の左右調整プレートのボルトをゆるめ、左右方向の調整をした後、ボルトを締め付けます。（左右調整量：± 3mm）



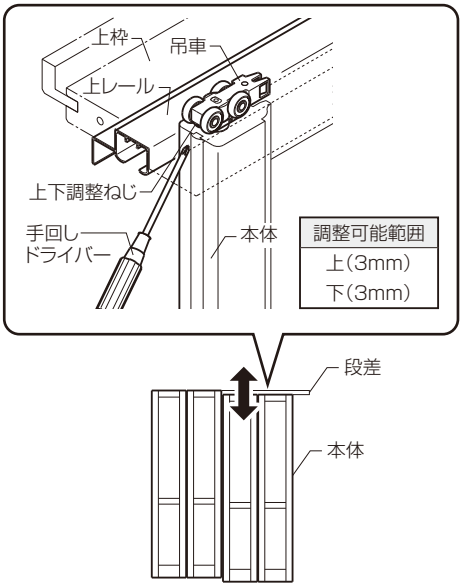


調整方法について

ラシッサ 可動間仕切り折れ戸／吊車による建付け調整

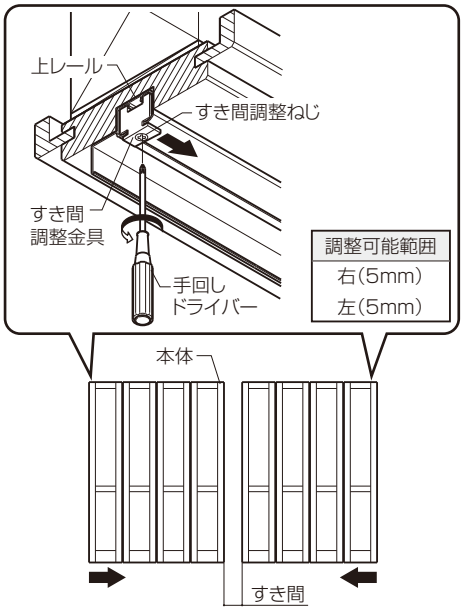
■上下方向の調整

●本体が段違いになった場合は、左右吊車の上下調整ねじをドライバーで回して調整します。



■左右方向の調整

●本体間のすき間が大きい場合は、上レール両端のすき間調整ねじをドライバーで回して調整します。



〈キャッチの取外しと調整〉

①本体を開け、キャッチを外します。

※キャッチのヘッドを左に回してロックを解除し、キャッチを上に引き抜きます。

②キャッチ下面の調整ねじをプラスドライバーで回して調整してください。

〈キャッチの取付け〉

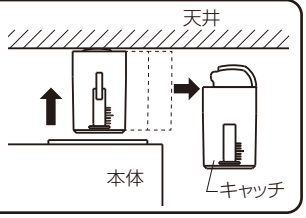
③キャッチを穴に差込み、キャッチのヘッドを右に回してロックしてください。

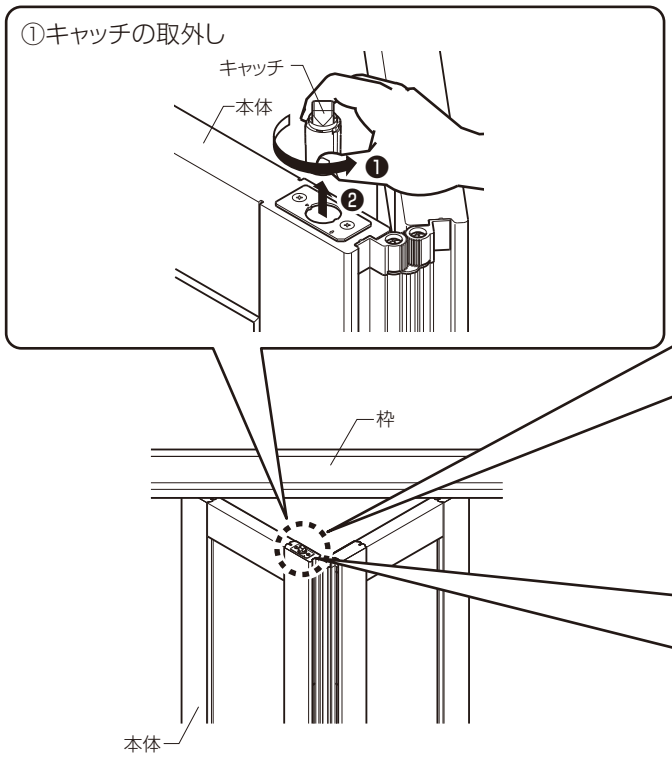
※「カチッ」という手応えがあるまで回します。

④本体を閉めて、キャッチの掛かりを確認します。

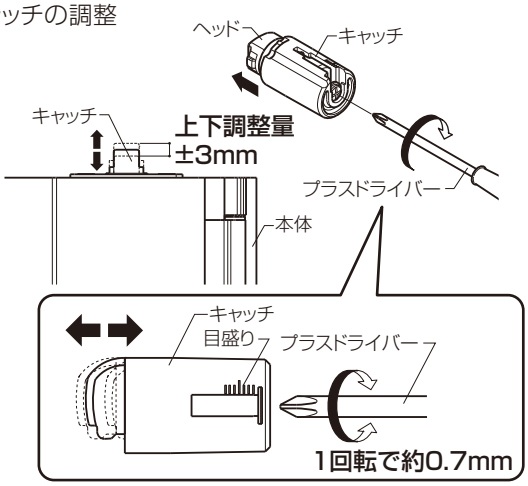
※うまくいかない場合は、①～④の作業を繰り返してください。

●天井と本体上端とのスペースが小さい場合は、キャッチを天井に押付けて、キャッチ全長を短くした状態で横に抜いてください。



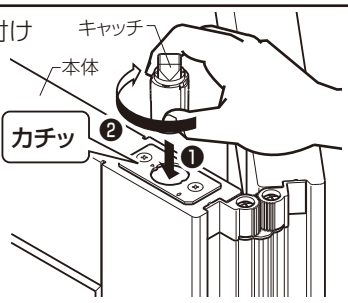


②キャッチの調整



●キャッチ力が弱いとき	**時計回り**
●キャッチ力が強いとき	**反時計回り**
●キャッチが上枠に当り、本体を閉めることができないとき	

③キャッチの取付け

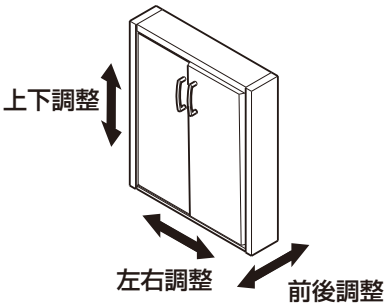


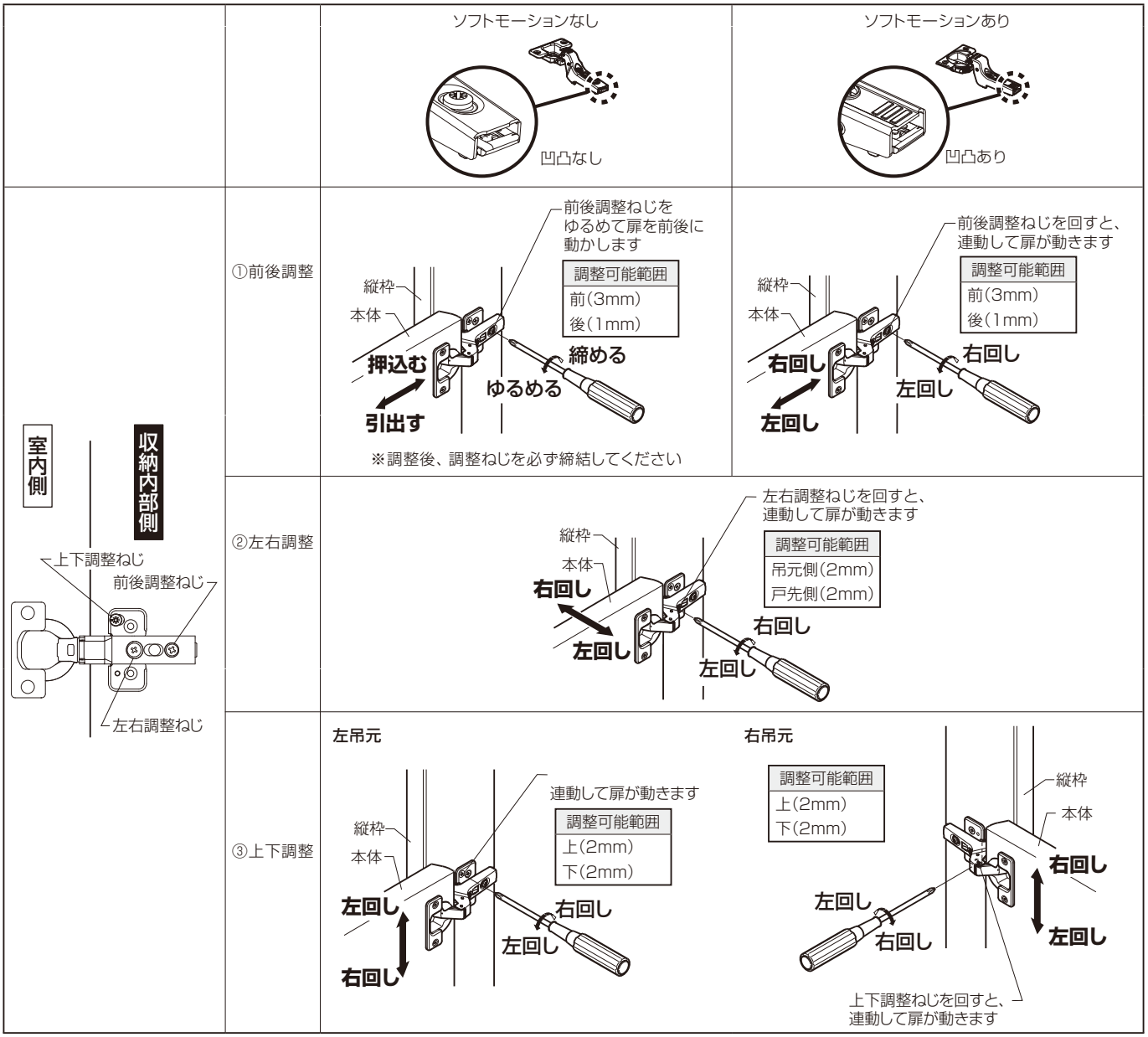
クローゼット開き戸・玄関収納／スライド丁番による建付け調整

スライド丁番
建付け調整動画
973347945002

お願い

●丁番カップや丁番座が扉や縦枠からはずれかけている場合は使用を控えて点検を行ってください。

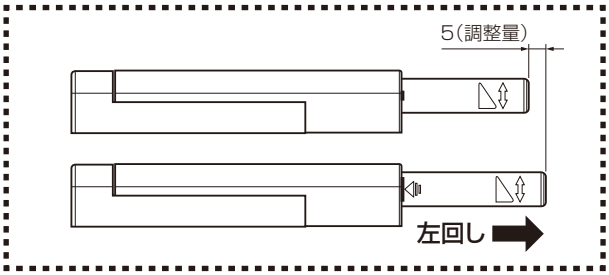




調整方法について

玄関収納／ プッシュラッチ調整方法

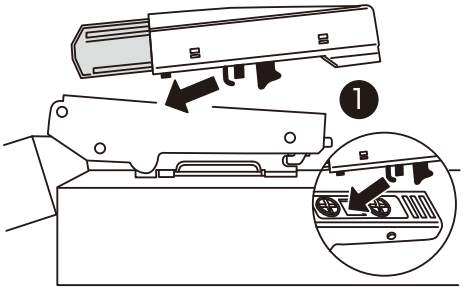
※扉が開かない場合、プッシュラッチのロッドを回して突出し量を調整してください。
※部品を調整しても扉が開かない場合、扉の位置調整を行ってください。

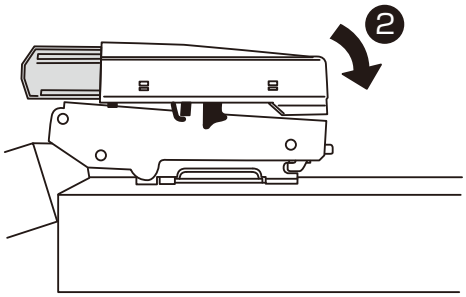


クローゼット開き戸・玄関収納／ ソフトモーション付け外し方法

■ソフトモーションの取付け

①丁番の口穴に突起を差し込みます。
②ソフトモーションの後ろ側をパチンと音がするまで差し込みます。



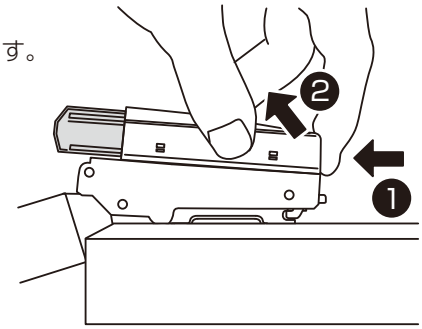


お願い

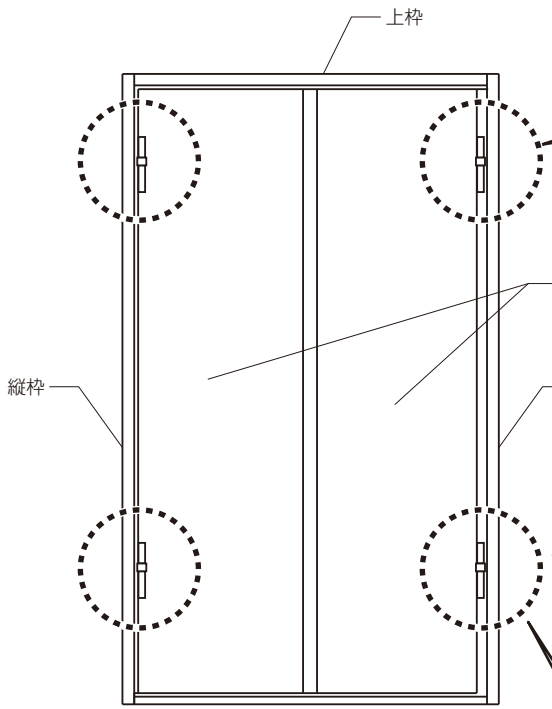
●取付けた後、扉を数回開閉し、作動に問題のないことを確認してください。

■ソフトモーションの取外し

①ソフトモーションの後ろ側を引っ張って取外します。



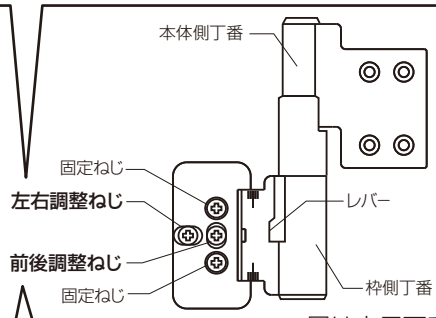
ラシッサ 両開き窓／丁番・フランス落としによる建付け調整



●左右調整

調整可能範囲
吊元側（1.5mm）
戸先側（2mm）

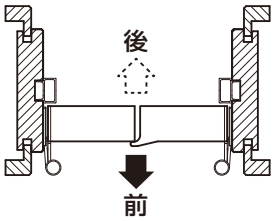
①固定ねじをゆるめる。
②左右調整ねじを左右に回して、
本体を左右に移動し位置を決める。
③固定ねじを締める。



※図は上用丁番を示す

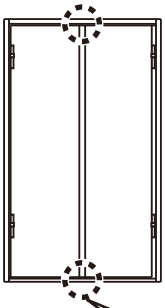
●前後調整（丁番側）

調整可能範囲
前（4mm）
後（1mm）

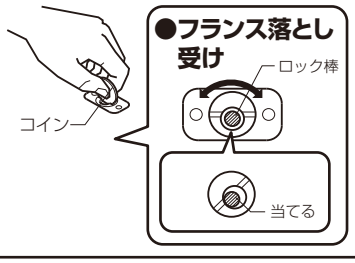


①固定ねじをゆるめる。
②前後調整ねじを左右に
回して、本体を前後に
移動し位置を決める。
③固定ねじを締める。

●ガタツキ調整（フランス落とし）

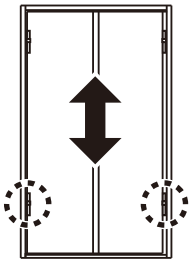


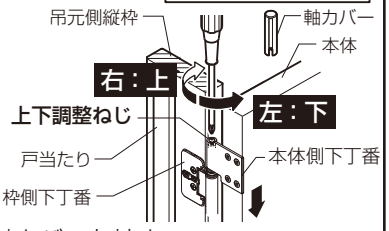
①コイン等で穴を回転させ、
ロック棒がガタつかないように
調整する。



●上下調整（下丁番）

調整可能範囲
上（3mm）
下（3mm）





①本体側下丁番の軸カバーを外す。
②上下調整ねじを回して上下調整する。
③軸カバーを本体側下丁番にはめる。

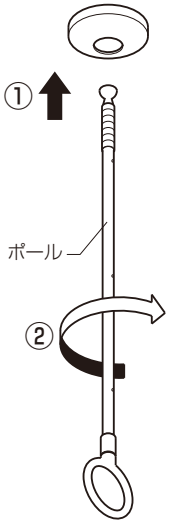
調整方法について

室内物干し 天井付けタイプ／ポールの着脱・長さ調整方法

■ポールの着脱方法について

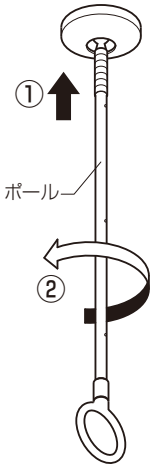
●取付け

①ポールを軽く上に押し当てます。
②右に回すとキャッチ部品が閉じ、ポールが保持されます。



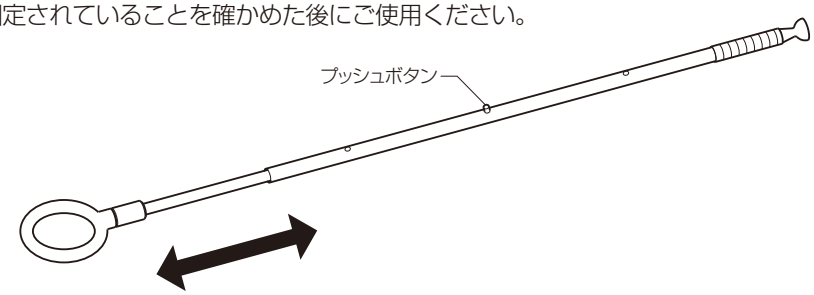
●取外し

①ポールを軽く上に押し当てます。
②左に回すとキャッチ部品が開き、ポールが取外せます。



■ポールの長さ調整方法について

①調整は必ずポールを取外し、手元で行ってください。
②ポールのプッシュボタンを押して、伸縮させてください。
③調整後は、ポールが固定されていることを確かめた後にご使用ください。

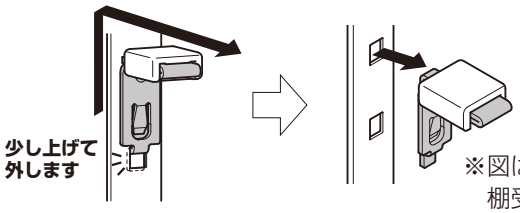


※長さ調整は460mm、550mm、640mmの3段階になります。

ぴったり棚の棚板位置変更方法

■棚受の取外し方法

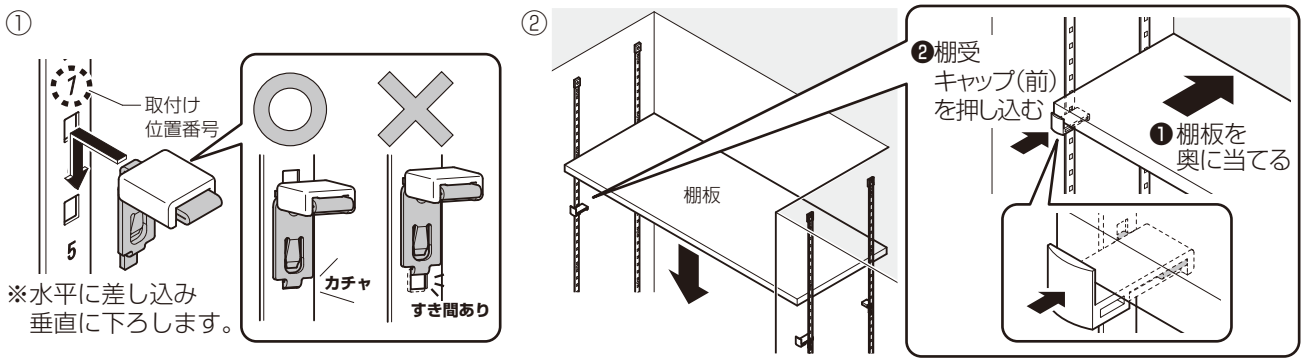
①棚板を外します。
②棚受を少し上に上げてから棚柱から外します。
（キャップは取り付いたまま外せます）



※図は棚受キャップ（後）
棚受けキャップ（前）も同様の方法

■棚板の取付け方法

①棚柱の穴に棚受を差し込み、カチャッとなるまで押し下げます。
（４つとも同じ番号の穴に取付けてください）
②棚板を棚受に載せ、棚受キャップ（前）を奥に押し込みます。



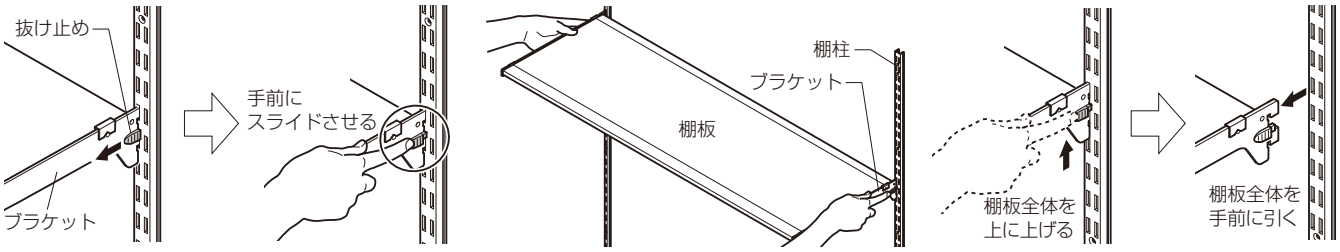
※水平に差し込み
垂直に下ろします。

すっきり棚の棚板位置変更方法

■棚板の取外し方法　※イラストは樹脂棚板ですが、木製棚板も手順は同じです。

①ブラケット抜け止めを手前にスライドさせます。

②抜け止めをスライドさせたまま、棚板の両端（ブラケット部）を手で持ち、棚板全体を上に上げ手前に引いて棚柱から棚板を取外します。

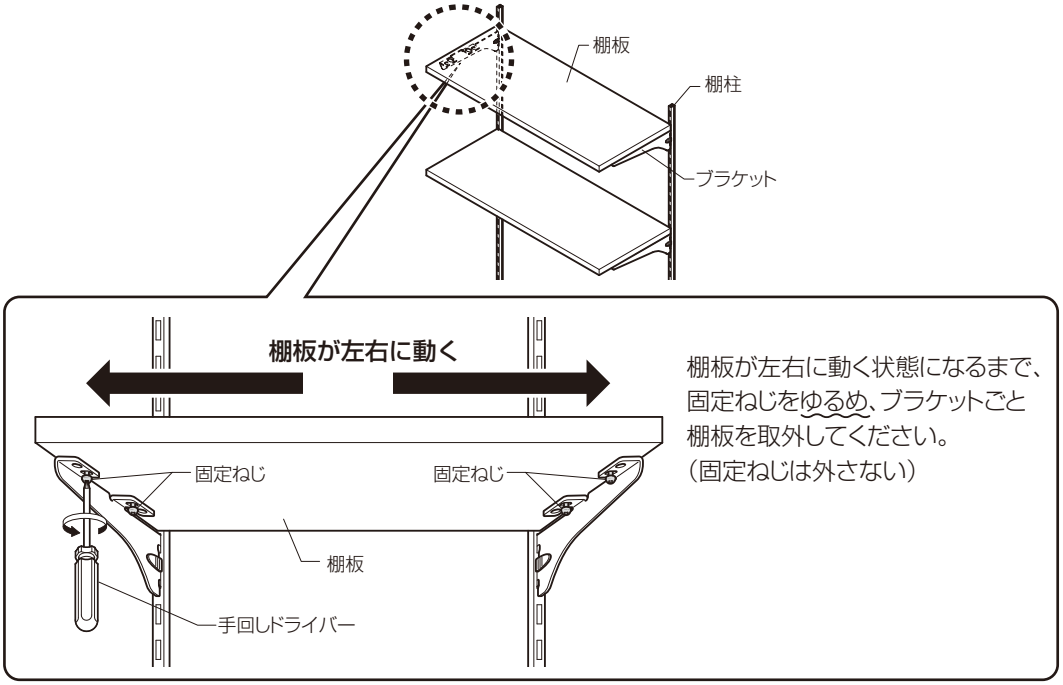


【木製棚板の場合】

〈棚板が取外しにくい場合〉

無理に外さず、一度棚板裏面の固定ねじを少しゆるめてから棚板を取外してください。

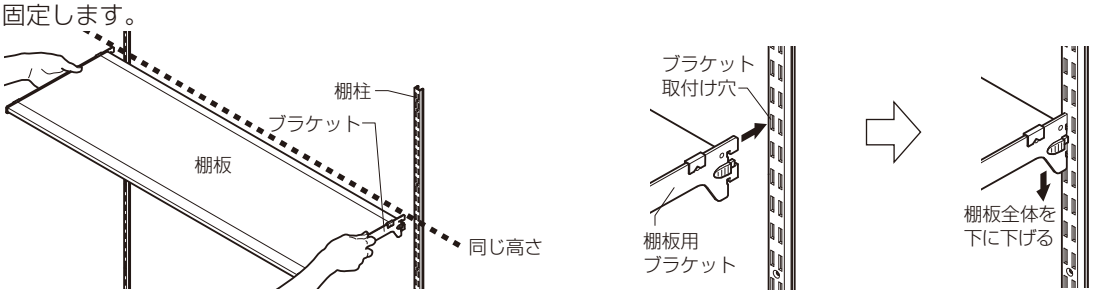
※位置変更後は必ず、ゆるめた固定ねじを再度締め直してください。



※無理に外すと棚柱やブラケットの表面にキズなどがつくことがあります。

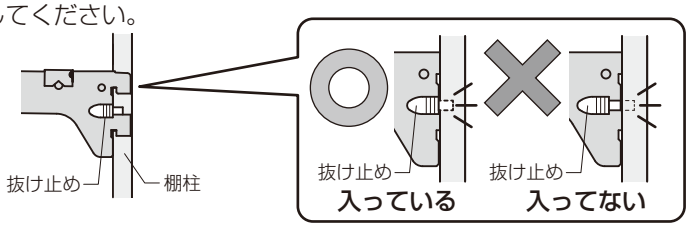
■棚板の取付け方法

棚板両端（ブラケット部）を手で持ち、棚柱のブラケット取付け穴に両端の棚板用ブラケットを同時に差込み、棚板全体を下に下げて固定します。



※必ず２本の棚板用ブラケットが同じ高さになるように設置してください。

※ブラケットの抜け止めが棚柱に入り、ブラケットが外れないことを確認してください。



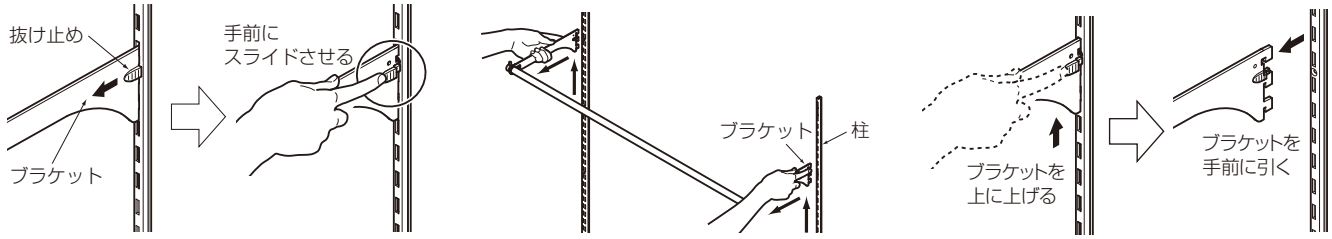
調整方法について

すっきり棚のパイプ位置変更方法

■パイプの取外し方法

①ブラケットの抜け止めを手前にスライドさせます。

②抜け止めをスライドさせたまま、両側のブラケットを上に上げ、手前に引いて棚柱からブラケットを取外します。

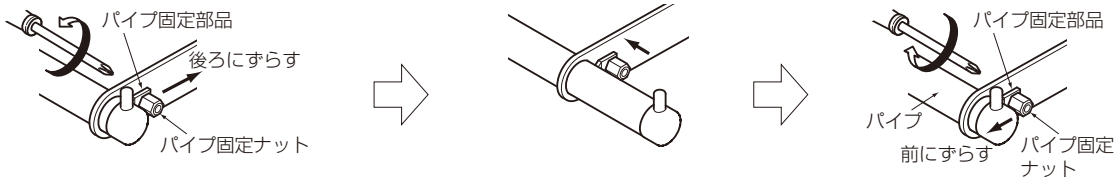


■ブラケットの固定幅変更方法

①パイプ固定ナットを手で押さえながら、ドライバーでねじをゆるめパイプ固定部品を後ろにずらします。

②ブラケットの固定位置を決めます。

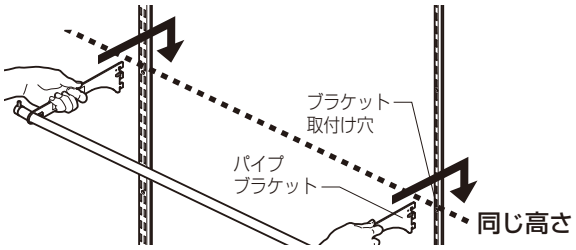
③パイプ固定部品を前にずらしてパイプに押し当て、パイプ固定ナットを手で押さえながら、ドライバーでねじを締めてパイプを固定します。



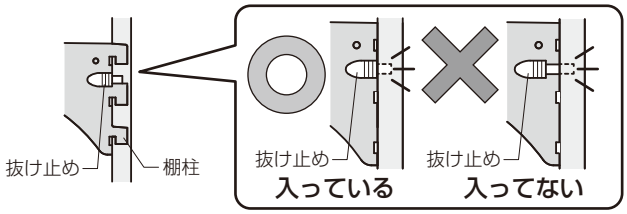
※パイプが動かないことを確認してください。

■パイプの取付け方法

取付け位置を決め、棚板のブラケット取付け穴に両端のブラケットを同時に差込み、全体を下に下げて固定します。



※必ず２本のブラケットが同じ高さになるように設置してください。



※ブラケットの抜け止めが棚柱に入り、ブラケットが外れないことを確認してください。

アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので**「■商品保証について」**の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、各商品の『**取扱説明書**』をもう一度ご確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお買い求めの施工店、工務店、販売店又は LIXIL 修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

①ご住所・お名前・電話番号
②商品名・品番
③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
④故障又は異常の内容
⑤訪問ご希望日
⑥ LIXIL 修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

修理の依頼先

・お買い求めの取扱い店
・製品に表示している連絡先
・LIXIL 修理受付センター　0120-413-433

修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含みます。）の最低保有期間は、製造打切り後 10 年です。電装系部品については製造打切り後 7 年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打切り後 2 年としております。
※機器類など専用の取扱説明書があるものは除きます。添付の取扱説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXIL 公式通販サイトよりご注文いただけます。
●リクシルストア　https://store.lixil.co.jp/

リクシルストアに掲載のない部品につきましては、
お買い求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター　0120-126-001 にご連絡ください。

2026 年 4 月

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において、お客さまがお買い求めの建築会社、工務店、施工店又は販売店（以下「取扱店」といいます）にご相談いただいた場合に、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、これによりお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間中、製品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お買い求めの取扱店にご相談ください。お買い求めの取扱店へご相談出来ない場合には、当社商品相談窓口までご相談ください。

■対象商品…… インテリア建材商品

■保証期間…… 施工者よりの引渡し日（注1・注2）から2年間（電装部品については1年間）
注1）改修工事の場合、改修部分の工事完了の日とします。
注2）分譲住宅（建売住宅）の場合、建築主さまへの引渡し日とします。

■有料扱い…… 建主さまがお持ちの工具で簡単に修理できるケース、または専門工事を伴うケースがありますので、事前にお買い求めの取扱店様にご相談ください。メーカー修理を依頼される場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

■保証内容…… 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

■免責事項…… 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（例えば、工事中の養生不良による変色や腐食など）
②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
④商品又は部品の経年変化（使用に伴なう消耗、摩耗など。木製品のソリ、干割れ、変色など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）又はこれらに伴なうサビ、カビなどその他類似の不具合
⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
⑥環境が特に悪い地域又は場所での腐食および不具合（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、浴室内などの湿潤な部位、部分的、又は全面的に野外に晒された場所。部屋内外の温度差が極端に違う部位に取付けられたもの、極端に乾湿を繰り返す部位に取付けられたもの。異常な高温・低温・多湿による不具合）
⑦天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
⑧施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合やキクイムシなどによる虫害
⑩引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
⑪お客さま自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
⑫本来の使用（一般住宅同等の環境下で使用される建築物）の目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。
※本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問合わせください。
※次のような消耗部品については、雨水侵入に伴う 10 年間の保証期間中であっても有料となります。（当社の不具合を除く）
ガラス押えゴム（グレチャン、ビード、ガラスパッキンなど）、気密部品（気密材、気密パッキン、気密ピースなど）、モヘヤ、風止め板、はずれ止め、振れ止め、カバー材、戸当り部品（戸当りパッキン、戸当りキャップなど）、戸車、操作つまみ、排水部品、排煙窓のワイヤー、網戸の網、網押さえゴムなどの合成樹脂部品
※ BL 認定商品については別途定められた保証期間・保証内容・免責事項によります。
※本商品保証は、日本国内においてのみ有効です。

株式会社 LIXIL

※商品のお問い合わせ・ご相談時のため、メモしておくと便利です。

■販売店名

TEL　　（　　）

■工務店名

TEL　　（　　）

2026年4月

使用可否条件について

使用可否条件は以下の通りです。
なお、「使用不可」に記載された環境における商品の使用は免責事項に該当します。

	使用可能	使用不可	理由
土足	土足で踏まれない環境	土足で踏まれる環境	砂や土等により、傷や作動不良等の原因となります。
温度・湿度	一般住宅同等の使用環境	異常な高温、低温、多湿などの環境	木質製品のため伸縮や表面の剥がれ等の原因となります。
水	一般住宅同等の使用環境 ※付着した場合は、素早く拭き取ってください。	水がかかる環境	木質製品のため水分を吸収し、表面の剥がれや膨れの原因となります。
油分・粉じん	一般住宅同等の使用環境 ※付着した場合は、素早く拭き取ってください。	油分や粉じんが発生する環境	製品の変色、変質などの原因となります。
薬品	一般住宅同等の使用環境 ※付着した場合は、素早く拭き取ってください。	薬品が付着する環境	製品の変色、変質などの原因となります。
使用方法	一般住宅同等の使い方	過度な衝撃や負荷が加わる環境	製品の破損、脱落、作動不良等の原因となります。
使用頻度	一般住宅同等の使用環境	使用頻度が多い環境	部品摩耗による作動不良等の原因となります。

MEMO

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL. **0120-126-001**

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. **0120-413-433**　FAX. **0120-413-436**

https://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

LIXIL

インテリア建材　建具・造作材・床・階段・収納・その他　取扱説明書

2026.10

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトから
ご確認ください。

取説番号 MAP-558A	事業所コード FV46	2026.10.1発行

MAP558A